

**平成27年度**

**病 院 年 報**



**珠洲市総合病院**

# 病 院 理 念

## “市民の心の支えとなる地域の中核病院に”

1. 疾病の予防から在宅医療までの一環した体制の確立を目指します。
1. 安心と信頼の地域医療を目指します。
1. いたわりの心で皆様の健康と命を守ります。

# 基 本 方 針

私たちは、市民に信頼され、期待される病院であり続けるために、次のことに努めます。

1. 地域の人々に適切な医療を提供し、併せて健康の増進に努めます。
1. 医師をはじめ医療技術者等の研鑽を重ね、加えて研修・実習を担当し、技術の向上、医療水準の向上発展に努めます。
1. 地域の医療機関等との連携を図り、地域に不足している分野の強化推進と、地域における役割分担を認識した、医療提供に努めます。
1. 患者さん中心の医療を堅持し、患者サービスの向上を図り、地域の人々に、信頼され、地域への貢献に努めます。
1. 患者さんの権利の尊重とプライバシー保護を遵守し、看護の継続性の充実に努めます。
1. 患者さんが快適な環境で治療に専念でき、また職員が希望をもって働ける明るい病院とし、併せて経営の健全化に努めます。
1. 病院全体に静かで明るい雰囲気、文化の香り豊かな病院づくりに努めます。

# 目 次

## 第1章 病院の沿革及び現況

1. 病院の沿革	1
2. 病院の概要	5
3. 職員の現況	7
4. 病院組織機構図	8

## 第2章 決算の概要

1. 収益費用明細書	10
2. 資本的収入及び支出	13
3. 貸借対照表	15

## 第3章 業務の概要

1. 患者の状況	17
(1) 入院・外来別患者数	17
(2) 外来初診患者数	18
(3) 平均在院日数	19
(4) 病床利用率	19
(5) 休日及び時間外救急取り扱い患者数	20
(6) 救急隊別患者搬入取り扱い件数	22
(7) 科別救急車搬入取り扱い件数	23
2. 地域医療連携業務の状況	24
(1) 紹介・逆紹介の状況	24
(2) 地域連携の状況	24
(3) 診療圏別紹介医療機関	24
3. 手術の状況	25
4. 在宅医療及び介護認定の状況	26
(1) 訪問診察・往診件数	26
(2) 科別利用者及び経管栄養・経口者件数	26
(3) 訪問看護件数	26
(4) 主治医意見書作成件数	26
(5) 訪問リハビリ件数	26

5. リハビリテーションの状況	27
6. 放射線の状況	29
(1) 撮影件数	29
7. 分娩の状況	31
(1) 分娩の状況	31
(2) 分娩集計	32
8. 給食及び栄養指導の状況	35
(1) 患者給食数	35
(2) 栄養指導数	35
(3) 平均残食率	35
9. 医療相談の状況	36
(1) 医療相談件数	36
(2) 医療相談状況内容	36
10. 臨床検査の状況	39
11. 内視鏡検査の状況	41
12. 健診及び人間ドックの状況	42
13. 人工透析の状況	43
14. 薬剤部の状況	44

# 第1章 病院の沿革及び現況

## 1. 病院の沿革

昭和 25 年	10 月 6 日	珠洲郡飯田町外 10 ヶ町村厚生医療組合立珠洲郡中央病院として開院 病院の名称／珠洲郡中央病院 病床数／一般 30、伝染病 15
昭和 27 年	3 月	伝染病棟新築 病床数／一般 60、伝染病 20、結核 15
昭和 29 年	7 月	結核病棟新築 病床数／一般 60、伝染病 20、結核 40
昭和 30 年	7 月	構成町村の統廃合により、珠洲市外一町厚生医療組合立珠洲郡中央病院となる
昭和 35 年	4 月	珠洲郡中央病院は珠洲市に帰属し名称を「珠洲市国民健康保険中央病院」と改称し、珠洲市営病院として発足
昭和 35・36 年度		病院改築第 1 期事業として病棟改築 病床数／一般 92、結核 40
昭和 37 年	5 月	「基準看護」承認 基準給食承認
	8 月	基準寝具承認
昭和 38・39 年度		病院改築第 2 期事業として診療及び管理棟新築
昭和 39 年	6 月	救急告示病院指定
昭和 42 年	9 月	総合病院の指定承認・病院の名称を「国民健康保険珠洲市総合病院」と改める 病床数／一般 100、結核 40 診療科目／内科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科
	10 月	整形外科開設
	12 月	基準看護「一類看護」承認
昭和 45 年	4 月	小児科開設
昭和 49・50 年度		結核病棟を改築し、一般病床の増床とリハビリテーション部門開設 病床数／一般 125、結核 15
昭和 50 年	6 月	基準看護「特一類看護」承認
昭和 51 年	3 月	病院改修工事施工 窓枠取替 冷房設備新設
昭和 53 年	4 月	労災指定病院指定
昭和 54 年	3 月	へき地中核病院指定 診療棟増築 へき地巡回診療開始／馬渡、大谷、折戸
昭和 56 年	1 月	脳神経外科及び皮膚科・泌尿器科を開設
	7 月	腎人工透析開始
昭和 58・59 年度		病棟増築・病院改修工事（内部改装）及び透析部門増築
昭和 59 年	5 月	増床許可 病床数／一般 175、結核 15 診療科目／内科、外科、小児科、眼科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科
	9 月	全身用 CT スキャナー設置
昭和 62 年	4 月	眼科医師常勤開設
	7 月	へき地巡回診療地域の変更（馬渡→上黒丸）
	9 月	病院運営協議会発足
昭和 63 年	2 月	作業療法施設基準承認
	4 月	耳鼻咽喉科常勤開設
	9 月	へき地巡回診療地域の変更（上黒丸中止）
	10 月	脳神経外科常勤開設
平成元年	9 月	脳神経外科専用病棟完成（改造工事） 看護単位の変更（3 単位→4 単位）
	12 月	大谷診療所移転新築（旧大谷診療所廃止）
平成 2 年	6 月	三崎診療所廃止（昭和 48 年 5 月以降休診）
	7 月	新大谷診療所開設

平成3年	4月	基準看護「特二類看護」承認
平成4年	4月	皮膚科開設
	8月	磁気共鳴断層撮影装置（MR I）設置
平成6年	4月	訪問看護室設置
	7月	基準病衣承認
平成7年	5月	新看護体系承認 一般病棟／新看護（A）2.5：1 結核病棟／新看護（A）4：1
平成8年	6月	医療相談室設置
平成9年	2月	災害拠点病院指定
	3月	新病院建設工事完成
	5月	新病院竣工式 結核医療機関の指定
	6月	名称を「珠洲市総合病院」として珠洲市野々江町ユ部1番地1で開院 病床数／199床（一般160、療養型32、結核7） 診療科目 10科→14科（神経内科、リハビリテーション科、精神科、放射線科を追加標榜） 院内にオーダーリングシステムの導入 処方・検査・給食・放射線オーダー等の導入 県内公立病院で初めて療養型病床群を新設 寝食分離による患者食堂（ダイルーム）設置（3箇所） R I（核医学診断装置）、泌尿器科用X線装置、血管造影装置等の導入
	11月	泌尿器科常勤開設
平成10年	9月	金沢医科大学附属病院より麻酔医派遣（毎週月曜日派遣）
平成11年	6月	外来診療に予約制を一部導入
	9月	財務会計・固定資産・物品管理電算システムを構築 駐車場新設工事施工（駐車台数92台可能）
	11月	介護保険施設指定（許可）申請（介護療養型医療施設 定員8人）
平成12年	1月	指定居宅介護支援事業者指定（許可）申請 （指定居宅サービスはみなし指定）
	3月	生活保護法指定介護機関指定申請
	4月	介護サービスの提供開始（医療保険と介護保険制度が確立）
平成13年	4月	リハビリテーション科に言語聴覚士採用
	8月	病床種別の届出（一般160、療養32、結核7）
	9月	術中病理画像伝送装置（テレパソロジー）設置 金沢大学医学部病理学教室へ診断依頼 周産期母子医療支援システムの導入
	11月	健診科開設・健診システムの導入
平成14年	4月	週休二日制の試行開始（完全土曜日閉院） 皮膚科常勤開設
	7月	神経内科の休止
平成15年	1月	能登北部の病院における診療を支援するための相互応援体制に関する覚書締結
	4月	へき地医療拠点病院に指定 泌尿器科の診療が毎週2回（火曜・金曜日）に変更
	5月	医療相談窓口コーナーの設置（ソーシャルワーカーの常駐）
平成16年	1月	院内完全禁煙実施（喫煙コーナーの設置・分煙機の撤去）
	3月	金沢大学附属病院臨床研修病院指定（協力型臨床研修施設）
	4月	泌尿器科の診療が隔週火曜日のみに変更
	12月	新医療情報システムを構築して運用開始 個人情報保護推進委員会を組織する

平成 17 年	4 月	個人情報保護法が施行される	
	5 月	市民ボランティア活動開始（正面玄関前交通整理等）	
	10 月	金沢大学寄附講座「地域医療学講座」の開設 呼吸器外科の診療開始	
平成 18 年	4 月	地域医療連携室を開設、 外来窓口業務を全面委託化 泌尿器科の診療が週 1 回（月曜日）に変更 入院基本料届出 一般・結核病棟 13 対 1 看護補助加算届出 一般病棟 10 対 1	
	6 月	診療録管理委員会の組織を設置	
	7 月	船員法施行規則第 57 条第 4 号の規定に基づく医師として指定 石川県地域医療支援医師修学資金貸与事業の経費負担の協力締結 入院基本料届出 一般・結核病棟 10 対 1 施設基準届出 療養病棟 8 割未満	
	9 月	金沢医科大学病院臨床研修病院指定（協力型臨床研修施設） 遠隔放射線画像支援システムが稼働 金沢大学放射線科との送受信開始	
	11 月	遠隔画像診断の施設基準届出	
	平成 19 年	1 月	診療録管理規定・記録開示指針等の制定 障害者自立支援法第 54 条第 2 項の規定による指定自立支援 医療機関の指定（更正医療・育成医療）
		2 月	船員保険生活習慣病予防健診委託契約締結 公立宇出津総合病院と「医療連携・病院経営合同懇談会」 （第 1 回）の開催
		4 月	皮膚科の診療が週 3 回（月・水・木曜日）に変更（非常勤） 「糖尿病予防教室」と名称変更し開設（一般住民にも開放） 石川県看護師等修学資金貸与事業に要する経費負担の協定締結
		5 月	院内に自動体外式除細動器（AED）配置
		7 月	精神科の診療が毎週金曜日に変更 病院派遣型再就職支援事業の申出書提出
	平成 20 年	12 月	金沢大学寄附講座「地域医療学講座」研究結果報告
4 月		能登北部地域医療協議会の発足	
7 月		マルチスライス CT 装置を更新 能登脳卒中地域連携クリティカルパスに参加	
	10 月	石川県地域医療支援センターと石川県地域医療人材バンクの連携により、内科医が 1 名着任 日本眼科学会専門医制度研修施設の認定	
平成 21 年	1 月	会計システム（POS レジ）を導入	
	2 月	「珠洲市総合病院改革プラン」策定	
	4 月	眼科の診療が週 2 回（水・金曜日）の午後に変更（非常勤） 精神科の診療が週 2 回（水・金曜日）に変更	
平成 22 年	2 月	磁気共鳴画像診断装置（MR I）を更新	
	5 月	医師住宅 A 棟・B 棟を新築（野々江町地内）	
	9 月	検査室に自動分析装置を更新	
平成 23 年	3 月	医師住宅 C 棟を新築（野々江町地内）	
平成 24 年	2 月	血管撮影（造影）装置を導入	
	3 月	医師住宅（野々江住宅 1、2 号棟）を改築 JA すずしより JA 共済「地域の安全・安心プロジェクト」 高規格救急車寄附収受	
	8 月	WHO・ユニセフより「赤ちゃんにやさしい病院（BFH）」に認定	

平成 24 年	11 月	院内ナースコール更新 院内空調設備更新
平成 25 年	1 月	電子カルテシステムに移行
	3 月	医師住宅（野々江マンション）を改築
	4 月	産婦人科に毎週木曜日禁煙外来を開設
	5 月	検査室に循環器超音波診断システムを導入
平成 26 年	3 月	地域医療連携ネットワークサービス「ID-Link」稼働 飯田医師住宅 1 号棟をリフォーム 飯田医師住宅 2 号棟を新築 珠州市総合病院災害対応マニュアル策定
	7 月	県より石川 DMAT 指定病院に指定 県と「石川 DMAT の出動に関する協定書」を締結
	10 月	地域包括ケア入院医療管理料届出
平成 27 年	1 月	放射線画像のフィルムレス運用開始
	8 月	バス待合所整備
	10 月	地域包括ケア病棟入院料届出 許可病床数を 199 床から 195 床（一般 104、地包 52、療養型 32、結核 7）へ届出



## 2.病院の概要

名 称	珠洲市総合病院
所 在 地	珠洲市野々江町ユ部1番地1 T E L 0768-82-1181 (代表) F A X 0768-82-1191 E-mail byouin@city.suzu.lg.jp
開 設 者	珠洲市長 泉谷 満寿裕
病 院 長	浜田 秀剛
敷地面積	46,366.55 m <sup>2</sup>
建物延面積	12,249.30 m <sup>2</sup>
診療科目 (13科)	内科、外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、整形外科、 脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、精神科、放射線科、 リハビリテーション科
許可病床数	199床 (一般160床、療養型32床、結核7床)
保険診療	10:1 入院基本
診療指定	保険医療機関、救急指定病院、へき地医療拠点病院、災害拠点病院 労災保険指定医療機関、結核医療機関、生活保護法指定医療機関 母体保護法指定病院、特定疾患治療研究医療機関、養育医療機関 被爆者一般疾病医療機関、小児慢性特定疾患治療医療研究機関 身体障害福祉法腎臓更正医療担当医療機関 身体障害福祉法耳鼻咽喉科更正医療担当医療機関 労災特別加入健診指定医療機関
施設基準	【基本診療料】 一般病棟入院基本料(10対1) 療養病棟入院基本料2 結核病棟入院基本料(10対1) 救急医療管理加算 妊産婦緊急搬送入院加算 診療録管理体制加算1 医師事務作業補助体制加算2 急性期看護補助体制加算(50対1) 重症者等療養環境特別加算 重症皮膚潰瘍管理加算 感染防止対策加算2 患者サポート体制充実加算 ハイリスク妊娠管理加算 退院調整加算 救急搬送患者地域連携紹介加算 救急搬送患者地域連携受入加算 データ提出加算2 地域包括ケア入院医療管理料1

## 施設基準

### 【特掲診療料】

高度難聴指導管理料 がん性疼痛緩和指導管理料 ニコチン依存症管理料  
ハイリスク妊産婦共同管理料Ⅰ がん治療連携指導料 薬剤管理指導料  
医療機器安全管理料Ⅰ 在宅療養支援病院Ⅰ  
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料  
HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)  
検体検査管理加算Ⅰ 時間内歩行試験 コンタクトレンズ検査料Ⅰ  
遠隔画像診断 CT 撮影及び MRI 撮影 外来化学療法加算Ⅱ  
無菌製剤処理料 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)・初期加算  
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)・初期加算  
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)・初期加算  
透析液水質確保加算Ⅱ 経皮的冠動脈形成術  
大動脈バルーンパンピング法  
経皮的冠動脈ステント留置術 ペースメーカー移植術・交換術  
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6(歯科点数表第 2 章第 9 部の  
通則 4 を含む。)に掲げる手術  
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 16 に掲げる手術  
胃瘻造設時嚥下機能評価加算  
輸血管理料Ⅱ 輸血適正使用加算 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算

### 【その他】

入院時食事療養法(Ⅰ)特別管理

### 3. 職員の現況

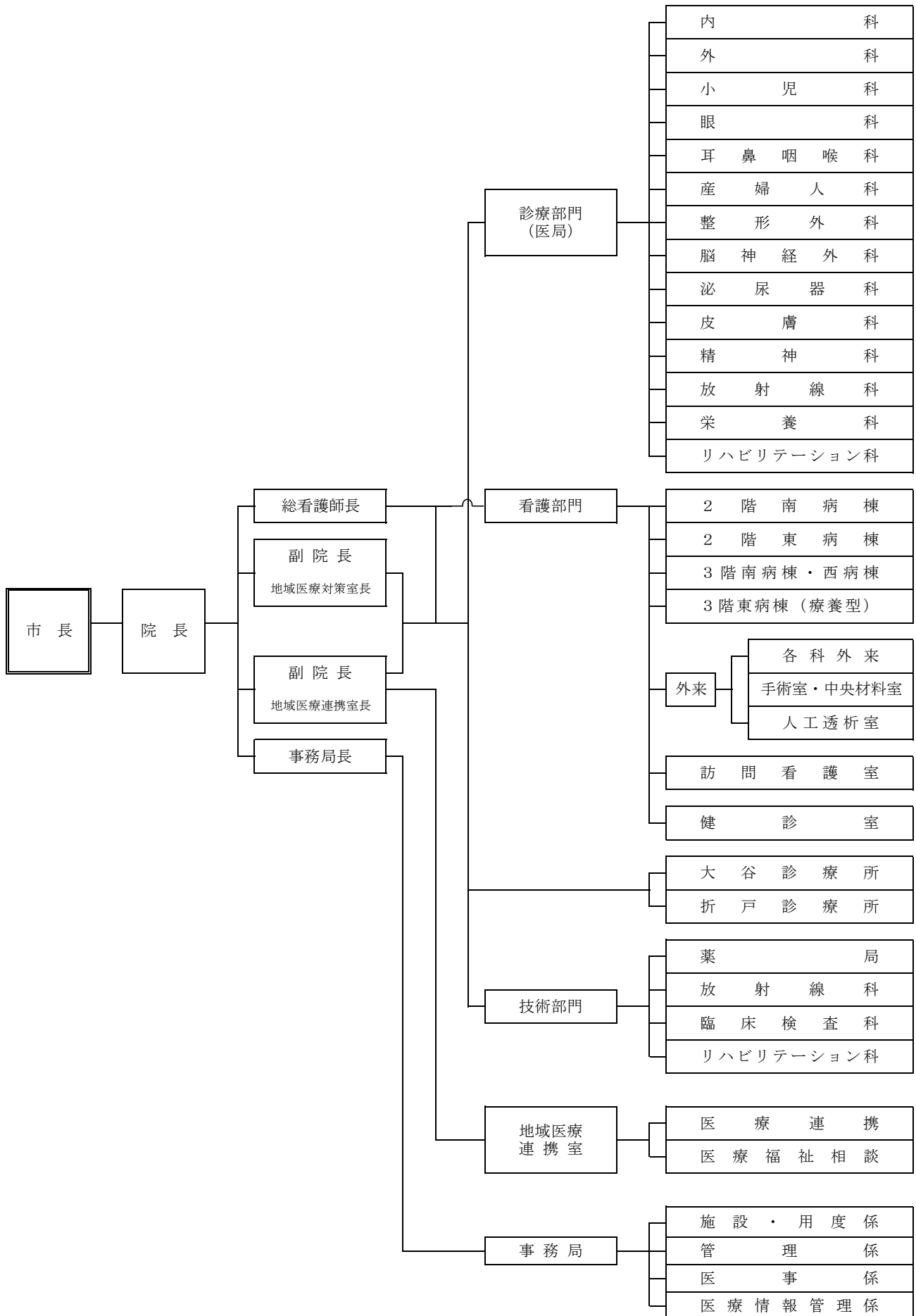
職員数の推移（各年度3月31日現在）

（単位：人）

年 度 職 種		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		正職員	臨職員	正職員	臨職員	正職員	臨職員
医 師		14	2	13	3	13	3
看 護 部 門		126	23	128	23	124	22
内 訳	看 護 師	90	12	94	10	92	8
	助 産 師	7		6		6	
	保 健 師	2		2		2	
	准 看 護 師	14		13	1	11	3
	看 護 助 手	13	11	13	12	13	11
医 療 技 術 部 門		35	8	35	7	37	5
内 訳	薬 剤 師	7		7		7	
	診 療 放 射 線 技 師	7		7		7	
	臨 床 検 査 技 師	7	3	7	1	7	1
	作 業 療 法 士	3		3		3	
	理 学 療 法 士	7		7		8	
	言 語 聴 覚 士	2		2		2	
	管 理 栄 養 士	2		2		2	
	栄 養 士		1		1		1
	そ の 他		4		5	1	3
事 務 職 員		18	9	18	9	18	8
そ の 他 の 職 員		2	16	2	17	1	16
内 訳	調 理 師		15		16		14
	技 術 員	2	1	2	1	1	2
総 計		195	58	196	59	193	54

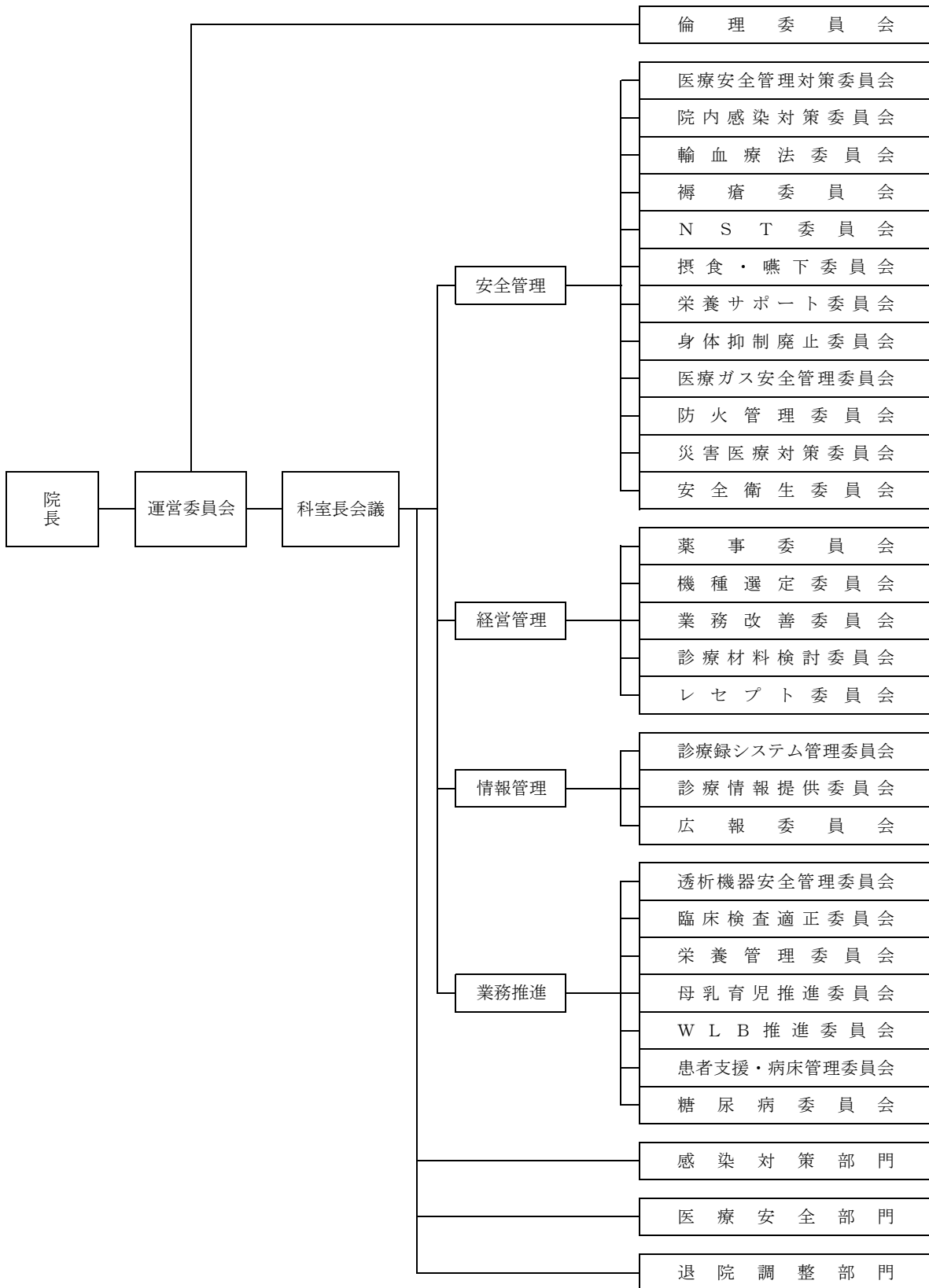
珠洲市総合病院組織機構図

平成27年4月1日現在



珠洲市総合病院委員会組織図

平成27年4月1日現在



## 第2章 決算の概要

### 1. 収益費用明細書

(単位:円、%)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
病院事業収益	4,008,373,912	98.4	4,074,604,053	101.7	3,878,428,825	95.2
医業収益	3,741,057,239	98.3	3,649,286,291	97.5	3,467,632,067	95.0
入院収益	1,599,092,012	97.2	1,505,224,649	94.1	1,328,250,800	88.2
外来収益	1,903,454,539	98.5	1,915,646,401	100.6	1,934,810,688	101.0
その他医業収益	146,892,227	97.7	142,375,485	96.9	144,025,029	101.2
室料差額収益	28,996,248	92.7	24,273,153	83.7	21,490,883	88.5
一般会計負担金	45,128,000	100.0	44,982,000	99.7	44,898,000	99.8
へき地巡回収益	2,661,620	106.1	2,933,250	110.2	3,132,472	106.8
公衆衛生活動収益	45,717,312	107.1	47,387,670	103.7	51,803,278	109.3
受託検査施設利用収益	10,991,751	98.4	11,026,348	100.3	10,810,119	98.0
その他医業収益	13,397,296	76.0	11,773,064	87.9	11,890,277	101.0
介護保険収益	91,618,461	114.8	86,039,756	93.9	60,545,550	70.4
居宅サービス収益	34,789,888	127.4	36,607,808	105.2	33,737,833	92.2
施設サービス収益	53,951,516	109.8	46,381,741	86.0	23,883,393	51.5
その他雑収益	2,877,057	85.0	3,050,207	106.0	2,924,324	95.9
医業外収益	267,316,673	101.7	416,658,722	155.9	409,525,034	98.3
受取利息及び配当金	240,956	100.9	748,970	310.8	752,523	100.5
預金利息	240,956	100.9	748,970	310.8	752,523	100.5
他会計補助金	77,684,000	101.0	83,835,000	107.9	81,797,000	97.6
一般会計補助金	70,292,000	101.5	76,311,000	108.6	74,195,000	97.2
国保会計補助金	7,392,000	96.7	7,524,000	101.8	7,602,000	101.0
県支出金	13,484,000	99.7	13,247,000	98.2	13,344,000	100.7
県補助金	13,484,000	99.7	13,247,000	98.2	13,344,000	100.7
負担金交付金	109,107,000	101.5	105,377,000	96.6	97,734,000	92.7
一般会計負担金	109,107,000	101.5	105,377,000	96.6	97,734,000	92.7
長期前受金戻入	0		147,476,076	皆増	147,397,323	99.9
患者外給食収益	1,403,531	79.6	1,326,201	94.5	1,256,625	94.8
その他医業外収益	65,397,186	103.8	64,648,475	98.9	62,595,624	96.8
不用品売却収益	887	52.5	0	皆減	139	皆増
その他雑収益	65,196,299	103.8	64,598,475	99.1	62,595,485	96.9
寄附金	200,000	100.0	50,000	25.0	0	皆減
特別利益	0	皆減	8,659,040	皆増	1,271,724	14.7
固定資産売却収益	0		0		0	
過年度損益修正益	0	皆減	8,659,040	皆増	1,271,724	14.7
診療所事業収益	7,647,100	106.9	8,251,058	107.9	9,151,433	110.9
大谷診療所医業収益	7,612,100	107.3	8,235,475	108.2	9,151,433	111.1
外来収益	7,612,000	107.3	8,235,475	108.2	9,151,433	111.1
その他医業収益	0		0		0	
公衆衛生活動収益	0		0		0	
医療相談収益	0		0		0	
その他医業収益	0		0		0	
大谷診療所医業外収益	35,000	56.5	15,000	42.9	0	皆減
受取利息及び配当金	0		0		0	
預金利息	0		0		0	
他会計補助金	0	皆減	0		0	
一般会計補助金	0		0		0	
国保会計補助金	0	皆減	0		0	
負担金交付金	35,000	64.8	15,000	42.9	0	皆減
一般会計負担金	35,000	64.8	15,000	42.9	0	皆減
その他医業外収益	0		0		0	
その他雑収益	0		0		0	
特別利益	0		583	皆増	0	皆減
過年度損益修正益	0		583	皆増	0	皆減
収益合計	4,016,021,012	98.4	4,082,855,111	101.7	3,887,580,258	95.2

(単位：円、%)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
病院事業費用	3,970,195,151	100.3	4,893,207,454	123.2	3,866,181,905	79.0
医業費用	3,719,368,293	99.9	3,750,139,715	100.8	3,615,738,964	96.4
給与費	1,724,517,798	97.0	1,745,211,134	101.2	1,707,093,710	97.8
給料	671,193,768	98.5	685,252,025	102.1	664,384,224	97.0
手当	468,145,947	100.4	381,340,958	81.5	375,824,822	98.6
賞与引当金繰入額	0		81,550,000	皆増	81,575,000	100.0
賃金	252,597,846	101.0	260,618,685	103.2	260,617,663	100.0
報酬	0		0		0	
法定福利費	252,112,789	98.6	263,683,788	104.6	259,023,600	98.2
退職給与金	80,467,448	64.9	72,765,678	90.4	65,668,401	90.2
材料費	1,353,711,108	104.0	1,305,143,811	96.4	1,256,896,572	96.3
薬品費	1,092,504,502	102.7	1,087,791,996	99.6	1,073,494,994	98.7
診療材料費	224,298,142	110.8	182,237,178	81.2	149,794,662	82.2
給食材料費	32,920,739	100.7	30,675,203	93.2	30,166,066	98.3
医療消耗備品費	3,987,725	112.9	4,439,434	111.3	3,440,850	77.5
経費	441,703,698	102.9	446,487,680	101.1	393,219,902	88.1
旅費交通費	9,726,168	95.0	9,424,840	96.9	10,342,066	109.7
職員被服費	580,517	20.6	2,157,049	371.6	323,180	15.0
消耗品費	23,897,809	120.3	20,161,435	84.4	18,243,696	90.5
消耗備品費	507,040	36.4	1,494,459	294.7	571,749	38.3
光熱水費	56,469,687	103.7	58,792,726	104.1	55,565,476	94.5
燃料費	43,104,577	119.1	29,877,445	69.3	12,395,168	41.5
食糧費	52,402	97.4	57,135	109.0	42,596	74.6
印刷製本費	2,314,527	192.0	681,377	29.4	1,045,730	153.5
修繕費	23,016,324	58.2	25,190,531	109.4	25,212,423	100.1
保険料	11,262,096	98.8	10,978,566	97.5	9,105,588	82.9
賃借料	40,183,646	107.7	40,216,246	100.1	33,426,812	83.1
通信運搬費	3,261,856	102.5	3,217,490	98.6	3,669,991	114.1
委託料	215,518,191	107.4	231,270,219	107.3	212,054,128	91.7
交際費	398,475	94.2	417,047	104.7	409,462	98.2
諸会費	1,530,669	101.4	1,751,230	114.4	1,710,038	97.6
公課費	39,400	28.4	81,600	207.1	124,400	152.5
役務費	2,133,732	99.1	2,026,780	95.0	2,057,340	101.5
貸倒引当金繰入額	0		665,210	皆増	0	皆減
雑費	7,706,582	118.5	8,026,295	104.1	6,920,059	86.2
減価償却費	150,937,631	88.8	218,908,678	145.0	220,738,539	100.8
建物減価償却費	59,725,318	95.5	69,204,766	115.9	60,314,710	87.2
建物附属設備減価償却費	6,742,018	28.0	16,393,048	243.1	18,569,719	113.3
構築物減価償却費	5,591,521	100.0	5,591,521	100.0	5,591,521	100.0
器具器具減価償却費	68,905,144	101.2	113,420,644	164.6	124,287,561	109.6
車両減価償却費	5,194,797	124.8	7,290,303	140.3	6,512,591	89.3
備品減価償却費	4,778,833	86.9	7,008,396	146.7	5,462,437	77.9
資産減耗費	16,994,606	253.4	2,610,654	15.4	6,864,345	262.9
たな卸資産減耗費	0		0		0	
固定資産除却費	16,994,606	253.4	2,610,654	15.4	6,864,345	262.9
研究研修費	6,797,212	90.9	7,134,031	105.0	6,265,351	87.8
研究材料費	0		0		0	
謝金	170,478	152.2	146,301	85.8	133,337	91.1
図書費	1,828,821	98.9	2,358,112	128.9	1,935,172	82.1
旅費	3,745,184	94.0	3,778,079	100.9	3,312,659	87.7
研究雑費	1,052,729	68.8	851,539	80.9	884,183	103.8
へき地巡回医療費	3,063,474	96.4	3,802,209	124.1	4,114,595	108.2
給料	1,632,405	85.7	1,893,238	116.0	2,012,464	106.3
手当	541,189	109.4	602,866	111.4	680,682	112.9
賃金	0		0		0	
法定福利費	161,390	80.3	219,039	135.7	183,712	83.9
へき地巡回経費	728,490	126.2	1,087,066	149.2	1,237,737	113.9
へき地医療診療支援システム費	21,642,766	90.2	20,841,518	96.3	20,545,950	98.6
消耗品費	195,000	132.7	113,400	58.2	113,400	100.0
通信運搬費	150,506	95.9	149,858	99.6	149,290	99.6
賃借料	9,725,760	100.0	9,725,760	100.0	9,725,760	100.0
委託料	11,571,500	82.9	10,852,500	93.8	10,557,500	97.3
消耗備品費	0		0		0	

(単位：円、%)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
医業外費用	226,983,264	97.6	266,960,328	117.6	250,122,038	93.7
支払利息及び企業債取扱諸費	130,523,780	94.2	122,699,757	94.0	114,446,111	93.3
企業債利息	130,523,780	94.2	122,699,757	94.0	114,446,111	93.3
一時借入金利息	0		0		0	
繰延勘定償却	5,079,468	91.9	3,760,583	74.0	2,340,243	62.2
控除対象外消費税額償却	5,079,468	91.9	3,760,583	74.0	2,340,243	62.2
患者外給食材料費	3,109,636	102.4	2,793,317	89.8	2,663,957	95.4
給食材料費	3,109,636	102.4	2,793,317	89.8	2,663,957	95.4
消費税及び地方消費税	0		0		0	
雑支出	88,270,380	103.2	137,706,671	156.0	130,671,727	94.9
その他雑支出	88,270,380	103.2	137,706,671	156.0	130,671,727	94.9
特別損失	23,843,594	942.5	876,107,411	3,674.4	320,903	0.0
過年度損益修正損	23,843,594	942.5	2,966,550	12.4	320,903	10.8
その他特別損失	0		873,140,861	皆増	0	皆減
診療所事業費用	5,527,200	79.1	5,144,407	93.1	6,857,695	133.3
大谷診療所医業費用	5,514,865	79.1	5,117,659	92.8	6,844,345	133.7
給与費	3,167,740	62.3	3,921,052	123.8	5,769,017	147.1
給料	365,005	155.8	240,076	65.8	526,706	219.4
手当	562,484	67.9	753,725	134.0	1,047,597	139.0
賃金	1,943,426	54.9	2,553,202	131.4	3,579,955	140.2
法定福利費	296,825	61.2	374,049	126.0	614,759	164.4
材料費	2,024,849	127.7	707,624	34.9	751,516	106.2
薬品費	2,024,849	127.7	707,624	34.9	751,516	106.2
診療材料費	0		0		0	
医療消耗備品費	0		0		0	
経費	241,397	109.8	408,104	169.1	268,808	65.9
旅費交通費	0		0		0	
職員被服費	0		0		0	
消耗品費	12,171	154.8	0	皆減	16,224	皆増
消耗備品費	0		40,900	皆増	0	皆減
光熱水費	0		0		0	
燃料費	67,728	107.8	88,930	131.3	88,473	99.5
印刷製本費	0		0		0	
修繕費	0		125,000	皆増	0	皆減
保険料	114,905	99.9	114,738	99.9	114,871	100.1
賃借料	18,405	298.1	10,114	55.0	20,021	198.0
通信運搬費	28,188	100.8	28,422	100.8	29,219	102.8
委託料	0		0		0	
役務費	0		0		0	
雑費	0		0		0	
減価償却費	80,879	100.0	80,879	100.0	55,004	68.0
建物減価償却費	0		0		0	
備品減価償却費	80,879	100.0	80,879	100.0	55,004	68.0
研究研修費	0		0		0	
図書費	0		0		0	
旅費	0		0		0	
研究雑費	0		0		0	
大谷診療所医業外費用	12,335	78.4	26,748	216.8	12,297	46.0
支払利息及び企業債取扱諸費	6,934	66.0	3,364	48.5	0	皆減
企業債利息	6,934	66.0	3,364	48.5	0	皆減
雑支出	5,401	103.2	23,384	433.0	12,297	52.6
その他雑支出	5,401	103.2	23,384	433.0	12,297	52.6
特別損失	0	皆減	0		1,053	皆増
過年度損益修正損	0	皆減	0		1,053	皆増
費用合計	3,975,722,351	100.2	4,898,351,861	123.2	3,873,039,600	79.1
当年度純損益	40,298,661	35.2	△ 815,496,750	△ 2,023.6	14,540,658	△ 1.8



## 2. 資本的收入及び支出

### 収 入

(単位:円、%)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
病院事業資本的收入	437,877,000	71.7	366,938,000	83.8	328,095,000	89.4
企業債	158,800,000	102.5	120,500,000	75.9	78,500,000	65.1
県支出金	35,854,000	24.5	0	皆減	284,000	皆増
県補助金	35,854,000	24.5	0	皆減	284,000	皆増
他会計負担金	239,779,000	90.7	242,118,000	101.0	246,611,000	101.9
一般会計負担金	239,779,000	90.7	242,118,000	101.0	246,611,000	101.9
他会計補助金	3,444,000	8.6	4,320,000	125.4	2,700,000	62.5
国保会計補助金	3,444,000	8.6	4,320,000	125.4	2,700,000	62.5
寄付金	0	皆減	0		0	
診療所事業資本的收入	316,000	106.4	337,000	106.6	0	皆減
企業債					0	
他会計負担金	316,000	106.4	337,000	106.6	0	皆減
一般会計負担金	316,000	106.4	337,000	106.6	0	皆減

### 支 出

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
病院事業資本の支出	581,152,429	73.2	506,756,966	87.2	470,243,257	92.8
建設改良費	226,501,835	48.4	130,640,224	57.7	90,824,868	69.5
営業設備費	115,571,435	32.5	77,461,024	67.0	63,963,108	82.6
備品購入費	18,142,740	314.2	6,436,984	35.5	2,711,448	42.1
医療器械購入費	73,245,900	21.5	71,024,040	97.0	61,251,660	86.2
自動車購入費	5,772,830	57.7	0	皆減	0	
医師住宅整備事業費	42,890,400	538.7	0	皆減	0	
(住)委託料	4,113,900	824.8	0	皆減	0	
(住)工事請負費	38,734,500	519.0	0	皆減	0	
(住)負担金	0		0		0	
(住)土地購入費					0	
(住)雑費	42,000	皆増	0	皆減	0	
地上デジタル対応設備整備事業費	0		0		0	
工事請負費	0		0		0	
備品購入費					0	
院内改修事業	0		0		0	

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
(改)委託料					0	
(改)工事請負費					0	
院内空調更新事業費	68,040,000	86.3	0	皆減	23,114,160	皆増
(院内空調)委託料	1,575,000	326.1	0	皆減	488,160	皆増
(院内空調)工事請負費	66,465,000	84.9	0	皆減	22,626,000	皆増
院内設備更新事業費	0	皆減	0		0	
(院内設備)工事請負費	0	皆減	0		0	
院内電気設備等改修工事	0		39,484,800	皆増	0	皆減
委託料	0		0		0	
工事請負費	0		39,484,800	皆増	0	皆減
蒸気ボイラー更新事業費	0		13,694,400	皆増	0	皆減
工事請負費	0		13,694,400	皆増	0	皆減
病院バス待合所建設事業費	0		0		3,747,600	皆増
委託料	0		0		0	
工事請負費	0		0		3,747,600	皆増
雑費	0		0		0	
企業債償還金	352,300,594	109.5	372,991,742	105.9	376,943,186	101.1
企業債償還元金	352,300,594	109.5	372,991,742	105.9	376,943,186	101.1
投資	2,350,000	48.0	3,125,000	133.0	2,475,203	79.2
長期貸付金	2,350,000	48.0	3,125,000	133.0	2,475,203	79.2
看護師等修学資金貸付金	2,350,000	48.0	3,125,000	133.0	2,475,203	79.2
診療所事業資本の支出	420,000	100.0	500,000	119.0	0	皆減
建設改良費	0		0		0	
営業設備費	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
企業債償還金	420,000	100.0	500,000	119.0	0	皆減
企業債償還元金	420,000	100.0	500,000	119.0	0	皆減

### 3.貸借対照表

(単位:円、%)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
固定資産	5,214,295,668	101.0	4,861,662,358	93.2	4,721,415,573	97.1
有形固定資産	5,193,085,668	100.9	4,837,327,358	93.1	4,694,605,370	97.0
土地	1,056,779,264	100.0	1,056,779,264	100.0	1,056,779,264	100.0
建物	3,574,515,249	100.9	3,574,515,249	100.0	3,574,515,249	100.0
減価償却累計額(△)	963,575,783	105.8	1,155,912,421	120.0	1,216,227,131	105.2
建物附属設備	2,743,349,000	102.4	2,792,589,000	101.8	2,813,991,000	100.8
減価償却累計額(△)	2,323,190,134	100.3	2,343,028,144	100.9	2,361,597,863	100.8
構築物	604,417,995	100.0	604,417,995	100.0	607,887,995	100.6
減価償却累計額(△)	446,267,003	101.3	451,858,524	101.3	457,450,045	101.2
器械及び装置	2,217,010,528	96.3	2,259,759,528	101.9	2,249,120,028	99.5
減価償却累計額(△)	1,379,317,725	94.9	1,596,360,484	115.7	1,660,029,445	104.0
車両運搬具	55,542,290	108.5	55,542,290	100.0	55,542,290	100.0
減価償却累計額(△)	23,923,788	121.1	31,214,091	130.5	37,726,682	120.9
備品	297,302,477	111.8	300,583,227	101.1	302,643,166	100.7
減価償却累計額(△)	219,556,702	102.3	228,485,531	104.1	232,842,456	101.9
建設仮勘定	0		0		0	
投資	21,210,000	112.5	24,335,000	114.7	26,810,203	110.2
長期貸付金	21,210,000	112.5	24,335,000	114.7	26,810,203	110.2
流動資産	2,326,918,925	105.9	2,196,344,509	94.4	2,152,946,253	98.0
現金預金	1,718,565,347	123.6	1,609,068,400	93.6	1,573,345,024	97.8
未収金	599,606,892	75.4	575,701,826	96.0	566,636,637	98.4
貯蔵品	8,675,652	66.7	11,116,947	128.1	12,964,592	116.6
前払費用	57,000	46.7	0	皆減	0	
前払金	14,034	100.0	0	皆減	0	
その他流動資産	0		457,336	皆増	0	皆減
仮払消費税及び地方消費税	0		457,336	皆増	0	皆減
繰延勘定	48,730,966	112.3	54,264,076	111.4	58,409,137	107.6
控除対象外消費税額	48,730,966	112.3	54,264,076	111.4	58,409,137	107.6
資産合計	7,589,945,559	102.5	7,112,270,943	93.7	6,932,770,963	97.5
固定負債	0		4,858,932,228	皆増	4,541,779,736	93.5
企業債	0		4,121,659,881	皆増	3,802,856,753	92.3
引当金	0		737,272,347	皆増	738,922,983	100.2
退職給与引当金	0		736,607,137	皆増	738,922,983	100.3
修繕引当金	0		0		0	
貸倒引当金	0		665,210	皆増	0	皆減
流動負債	384,982,937	117.9	1,386,443,652	360.1	791,411,004	57.1
企業債	0		376,943,186	皆増	397,303,128	105.4
一時借入金	0		0		0	

(単位:円、%)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
未払金	384,982,937	117.9	257,858,717	67.0	267,567,187	103.8
医業未払金	383,438,437	118.0	254,227,817	66.3	265,907,587	104.6
未払消費税及び地方消費税	1,544,500	95.8	3,630,900	235.1	1,659,600	45.7
引当金	0		136,533,724	皆増	126,540,689	92.7
退職給与引当金	0		51,929,474	皆増	44,965,689	86.6
賞与引当金	0		84,604,250	皆増	81,575,000	96.4
その他流動負債	0		0		0	
繰延収益	0		615,108,025	皆増	718,144,502	116.8
長期前受金	0		1,005,580,998	皆増	1,209,644,798	120.3
長期前受金収益化累計額(△)	0		390,472,973	皆増	491,500,296	125.9
資本金	6,354,815,615	97.0	1,603,220,806	25.2	1,603,220,806	100.0
自己資本金	1,603,220,806	100.0	1,603,220,806	100.0	1,603,220,806	100.0
借入資本金	4,751,594,809	96.1	0	皆減	0	
企業債	4,751,594,809	96.1	0	皆減	0	
他会計借入金	0		0		0	
剰余金	850,147,007	160.3	△ 736,325,743	△ 86.6	△ 721,785,085	98.0
資本剰余金	1,633,723,557	120.6	0	皆減	0	
国県補助金	770,976,000	105.4	0	皆減	0	
その他資本剰余金	862,747,557	138.6	0	皆減	0	
利益剰余金	△ 823,875,211	87.8	79,171,007	△ 9.6	△ 736,325,743	△ 930.0
減債積立金	140,060,000	100.0	140,060,000	100.0	140,060,000	100.0
利益積立金	0		0		0	
建設改良積立金	0		0		0	
当年度未処理欠損金(△)	963,935,211	100.0	60,888,993	6.3	876,385,743	1,439.3
負債資本合計	7,589,945,559	102.5	7,112,270,943	93.7	6,932,770,963	97.5

### 第3章 業務の概要

#### 1. 患者の状況

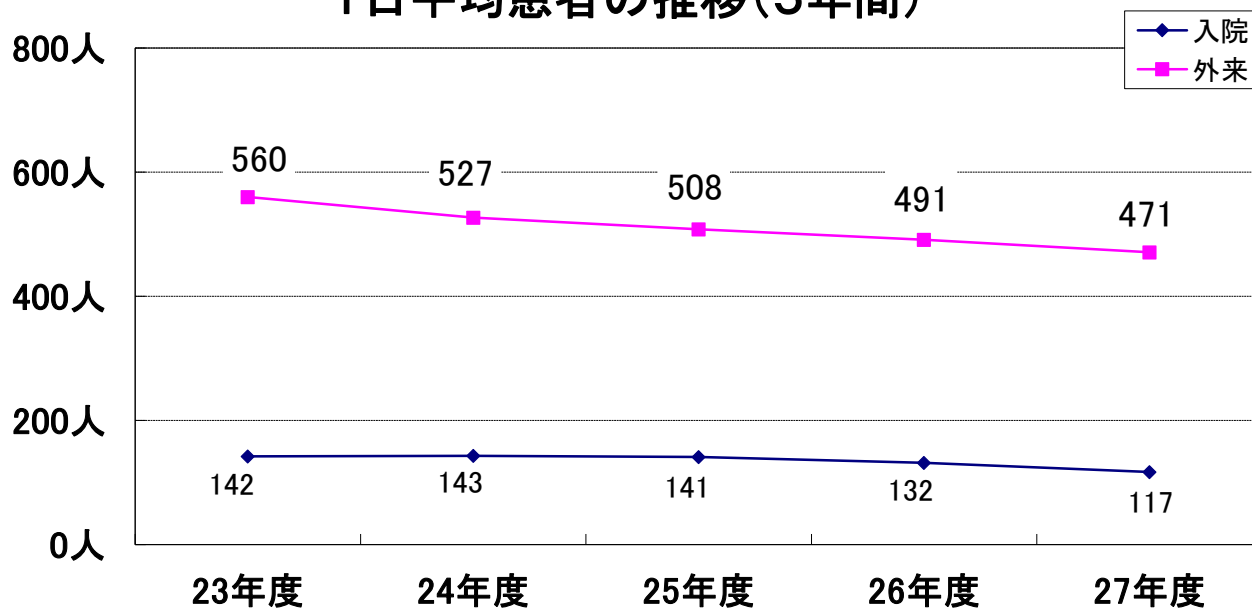
##### (1)入院・外来別患者数

(単位：人、%)

区 分	入 院				外 来			
	25年度	26年度	27年度	前年比	25年度	26年度	27年度	前年比
内 科	16,640	15,915	15,393	96.7	40,105	37,858	37,134	98.1
外 科	5,768	7,776	4,307	55.4	5,644	5,274	4,678	88.7
小 児 科	304	352	325	92.3	6,568	5,810	5,896	101.5
眼 科					3,744	3,321	2,955	89.0
耳鼻咽喉科	908	748	701	93.7	9,648	10,261	9,895	96.4
産婦人科	1,610	1,658	1,416	85.4	4,230	4,253	4,152	97.6
整形外科	13,726	10,428	10,310	98.9	24,752	22,783	20,404	89.6
脳神経外科	8,513	7,630	8,240	108.0	8,062	7,730	6,891	89.1
泌尿器科					(52)2,831	(52)2,937	(70)3,446	0.0
皮 膚 科	32	26	0	0.0	5,799	6,002	5,660	94.3
精 神 科					(99)4,564	(97)4,992	(99)5,276	0.0
短期入所	2,404	2,670	2,135	80.0				
介護保険	1,574	901	28	3.1	7,992	8,570	8,047	93.9
合 計	51,479	48,104	42,855	89.1	123,939	119,791	114,434	95.5
1ヵ月平均	4,289.9	4,008.7	3,571.3	89.1	10,328.3	9,982.6	9,536.2	95.5
1日平均	141.0	131.8	117.1	88.8	507.9	490.9	470.9	95.9

注：()内数字は稼働日数を示したもの

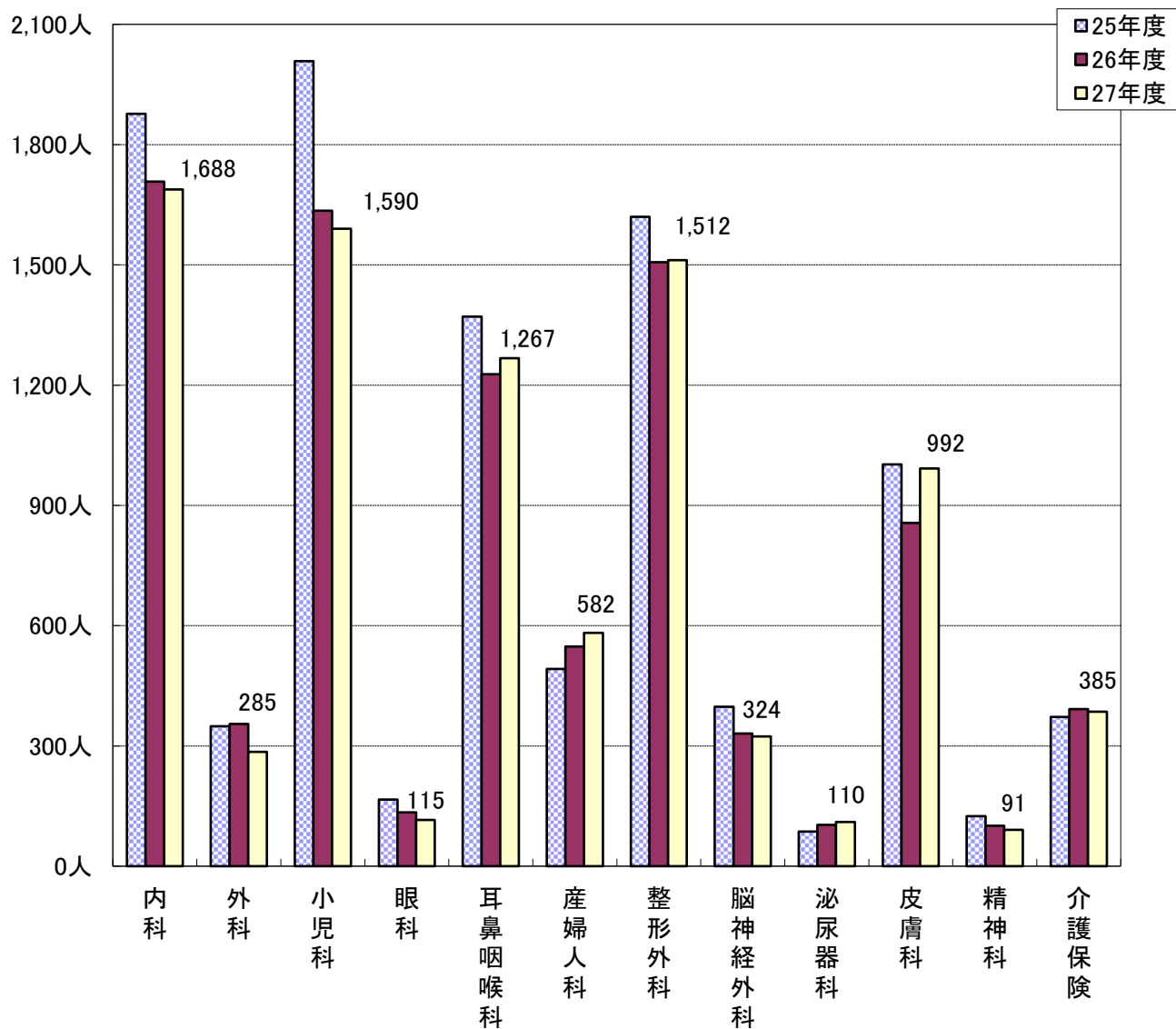
#### 1日平均患者の推移(5年間)



(2) 外来初診患者数

(単位：人、%)

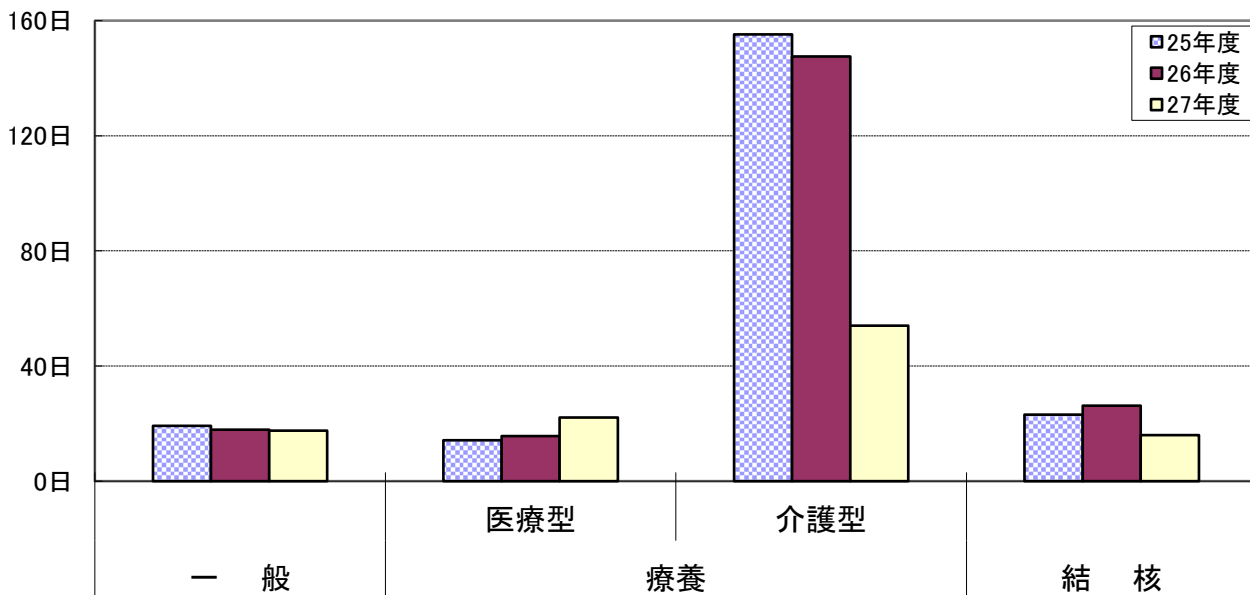
区分	25年度	26年度	27年度	前年比
内科	1,877	1,708	1,688	98.8
外科	349	355	285	80.3
小児科	2,008	1,635	1,590	97.2
眼科	166	134	115	85.8
耳鼻咽喉科	1,371	1,227	1,267	103.3
産婦人科	492	548	582	106.2
整形外科	1,620	1,507	1,512	100.3
脳神経外科	398	331	324	97.9
泌尿器科	86	103	110	106.8
皮膚科	1,002	856	992	115.9
精神科	125	101	91	90.1
介護保険	372	392	385	98.2
合計	9,866	8,897	8,941	100.5



### (3) 平均在院日数

(単位：日)

		25年度	26年度	27年度
一	般	19.2	17.9	17.6
療養	医療型	14.2	15.7	22.1
	介護型	155.2	147.5	54.0
結	核	23.1	26.2	16.0

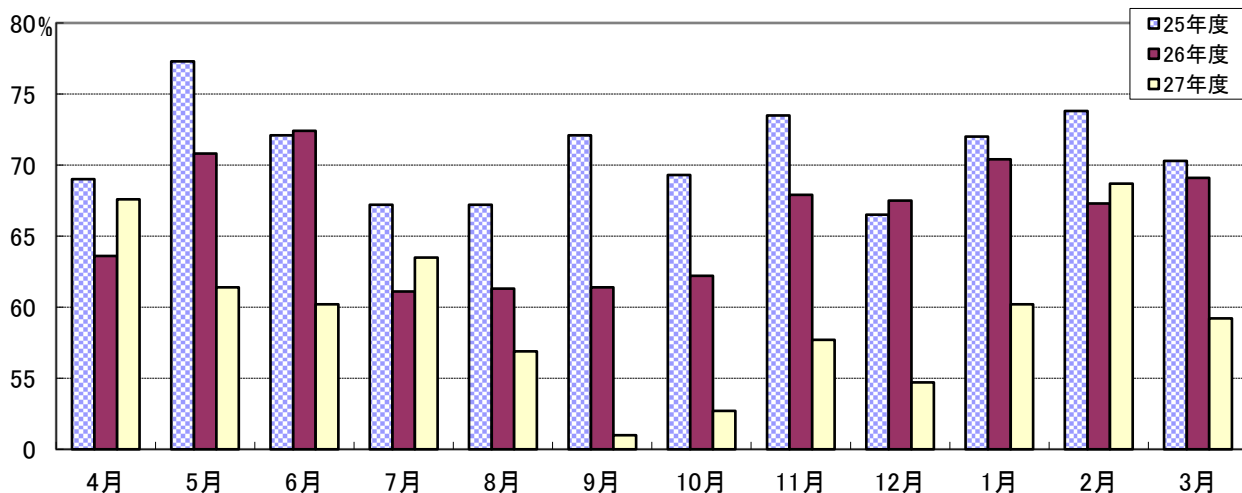


$$*平均在院日数 = \frac{\text{年間在院患者数}}{(\text{年間入院患者数} + \text{年間退院患者数}) \div 2}$$

### (4) 病床利用率

(単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(平均)
25年度	69.0	77.3	72.1	67.2	67.2	72.1	69.3	73.5	66.5	72.0	73.8	70.3	70.9
26年度	63.6	70.8	72.4	61.1	61.3	61.4	62.2	67.9	67.5	70.4	67.3	69.1	66.2
27年度	67.6	61.4	60.2	63.5	56.9	51.0	52.7	57.7	54.7	60.2	68.7	59.2	59.4



## (5) 休日及び時間外救急取り扱い患者数

(単位：人)

区 分	25年度	26年度	27年度
総 数	4,340	3,906	3,784
入 院	684	653	597
外 来	3,656	3,253	3,187

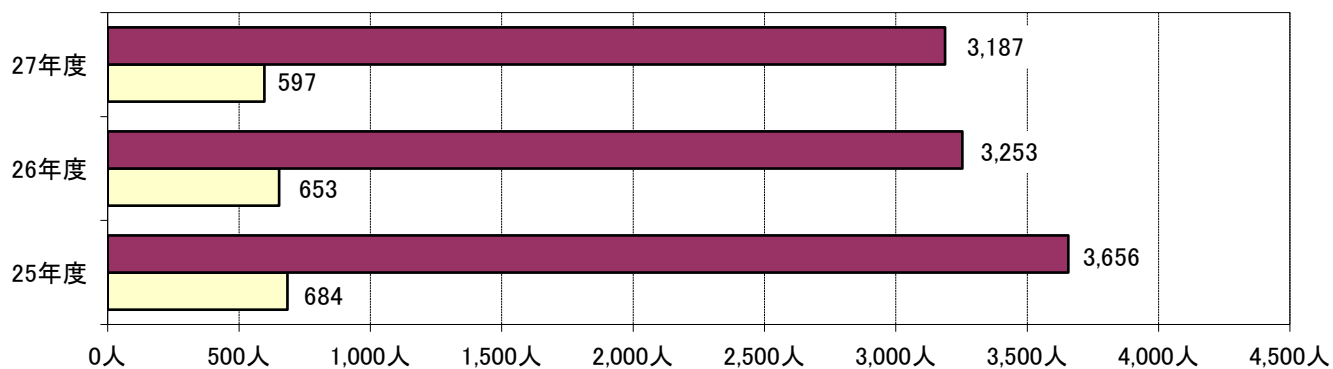
(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
内科	入院	21	19	20	11	16	10	27	24	26	29	13	14	230
	外来	80	120	80	98	132	87	86	67	115	106	96	118	1,185
	小計	101	139	100	109	148	97	113	91	141	135	109	132	1,415
外科	入院	2	5	4	3	4	2	9	8	5	3	4	4	53
	外来	13	23	17	25	16	14	10	11	11	14	8	9	171
	小計	15	28	21	28	20	16	19	19	16	17	12	13	224
小児科	入院	3	3	1	0	2	0	2	2	0	3	0	1	17
	外来	28	71	28	45	65	71	36	26	62	35	34	30	531
	小計	31	74	29	45	67	71	38	28	62	38	34	31	548
眼科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	2	0	2	2	4	1	1	4	1	0	2	19
	小計	0	2	0	2	2	4	1	1	4	1	0	2	19
耳鼻咽喉科	入院	0	1	0	2	3	0	3	6	1	1	3	2	22
	外来	18	29	18	10	24	10	13	21	17	21	16	14	211
	小計	18	30	18	12	27	10	16	27	18	22	19	16	233
産婦人科	入院	4	10	8	15	7	8	10	7	9	7	5	6	96
	外来	8	9	6	9	12	10	13	8	11	7	8	5	106
	小計	12	19	14	24	19	18	23	15	20	14	13	11	202
整形外科	入院	6	8	7	4	9	8	5	9	6	9	7	4	82
	外来	36	52	33	38	49	78	42	20	47	34	14	28	471
	小計	42	60	40	42	58	86	47	29	53	43	21	32	553
脳神経外科	入院	9	9	4	7	7	6	7	10	14	9	9	5	96
	外来	16	22	14	7	19	19	15	16	16	11	11	14	180
	小計	25	31	18	14	26	25	22	26	30	20	20	19	276
泌尿器科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	8	4	5	2	7	5	8	4	5	4	2	7	61
	小計	8	4	5	2	7	5	8	4	5	4	2	7	61
皮膚科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	外来	8	16	23	32	58	31	24	11	11	5	6	7	232
	小計	8	16	23	32	58	31	24	11	11	5	7	7	233
精神科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	1	4	2	7	0	2	0	2	0	1	1	0	20
	小計	1	4	2	7	0	2	0	2	0	1	1	0	20
小計	入院	45	55	44	42	48	34	63	66	61	61	42	36	597
	外来	216	352	226	275	384	331	248	187	299	239	196	234	3,187
総合計	261	407	270	317	432	365	311	253	360	300	238	270	3,784	



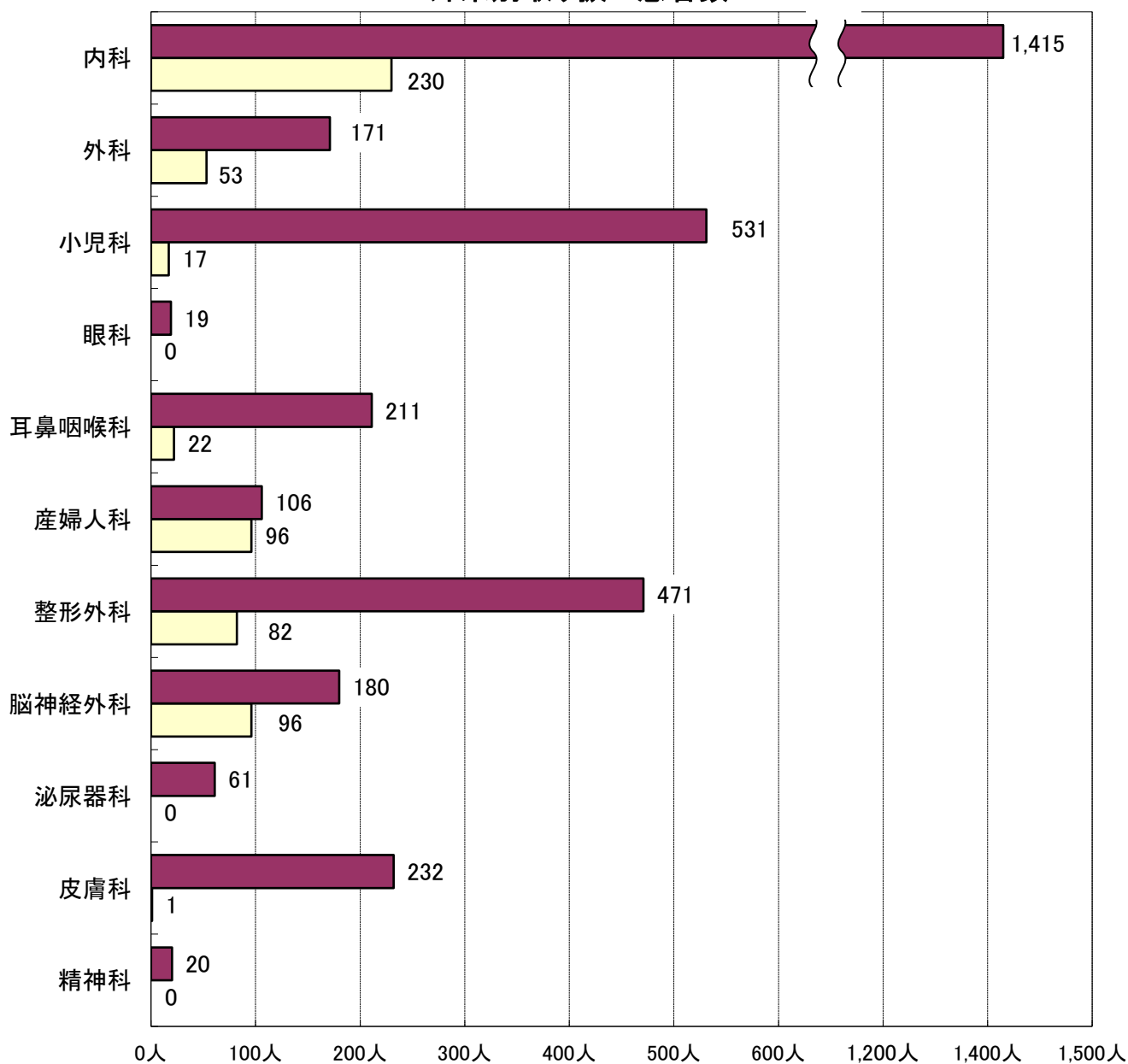
年度別取り扱い患者数(3年間)

■外来 □入院



外来別取り扱い患者数

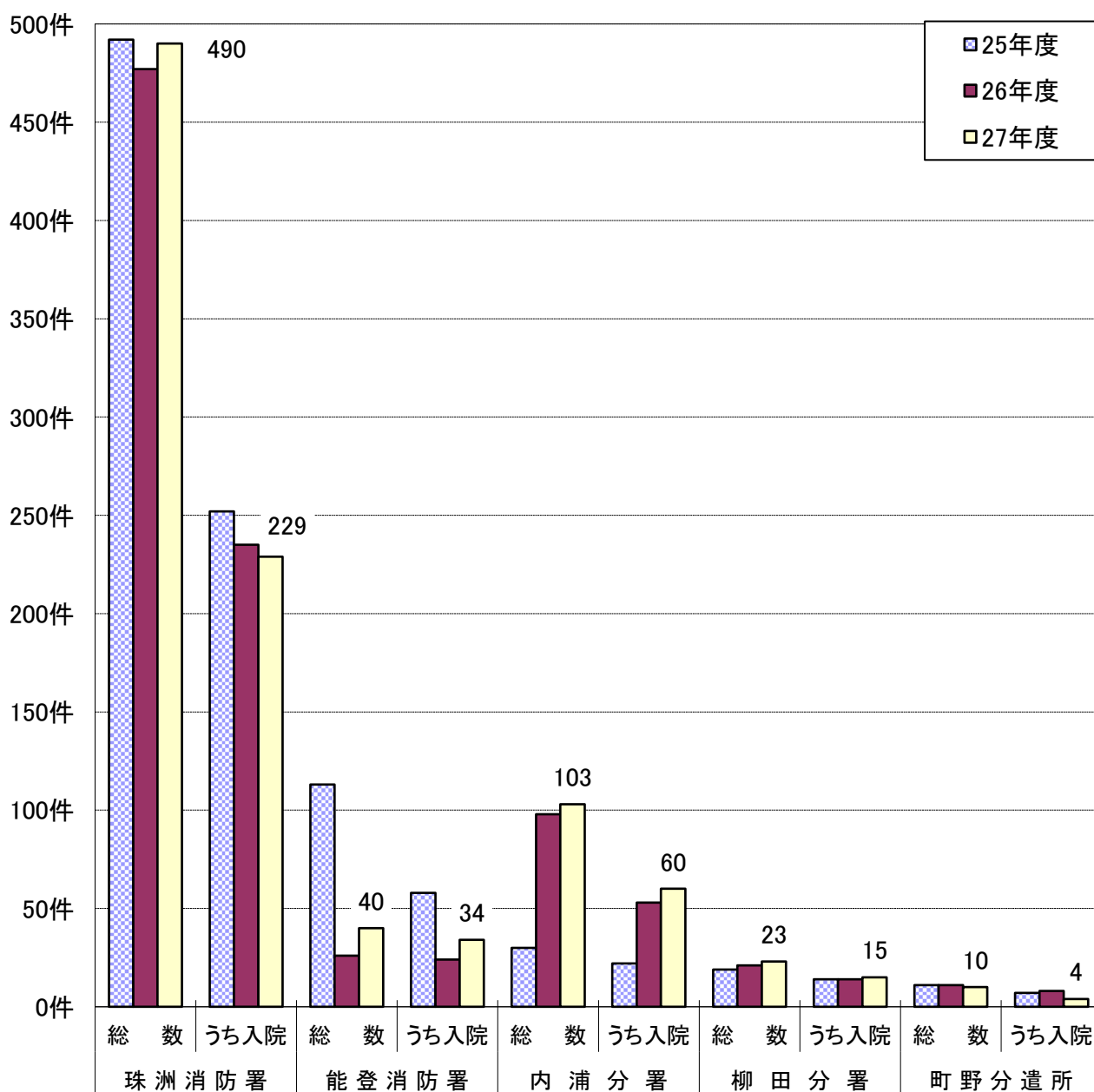
■外来 □入院



(6)救急隊別患者搬入取り扱い件数

(単位：件)

区 分		25年度	26年度	27年度
珠 洲 消 防 署	総 数	492	477	490
	うち入院	252	235	229
能 登 消 防 署	総 数	113	26	40
	うち入院	58	24	34
内 浦 分 署	総 数	30	98	103
	うち入院	22	53	60
柳 田 分 署	総 数	19	21	23
	うち入院	14	14	15
町 野 分 遣 所	総 数	11	11	10
	うち入院	7	8	4
総 数 合 計		665	633	666
入 院 合 計		353	334	342

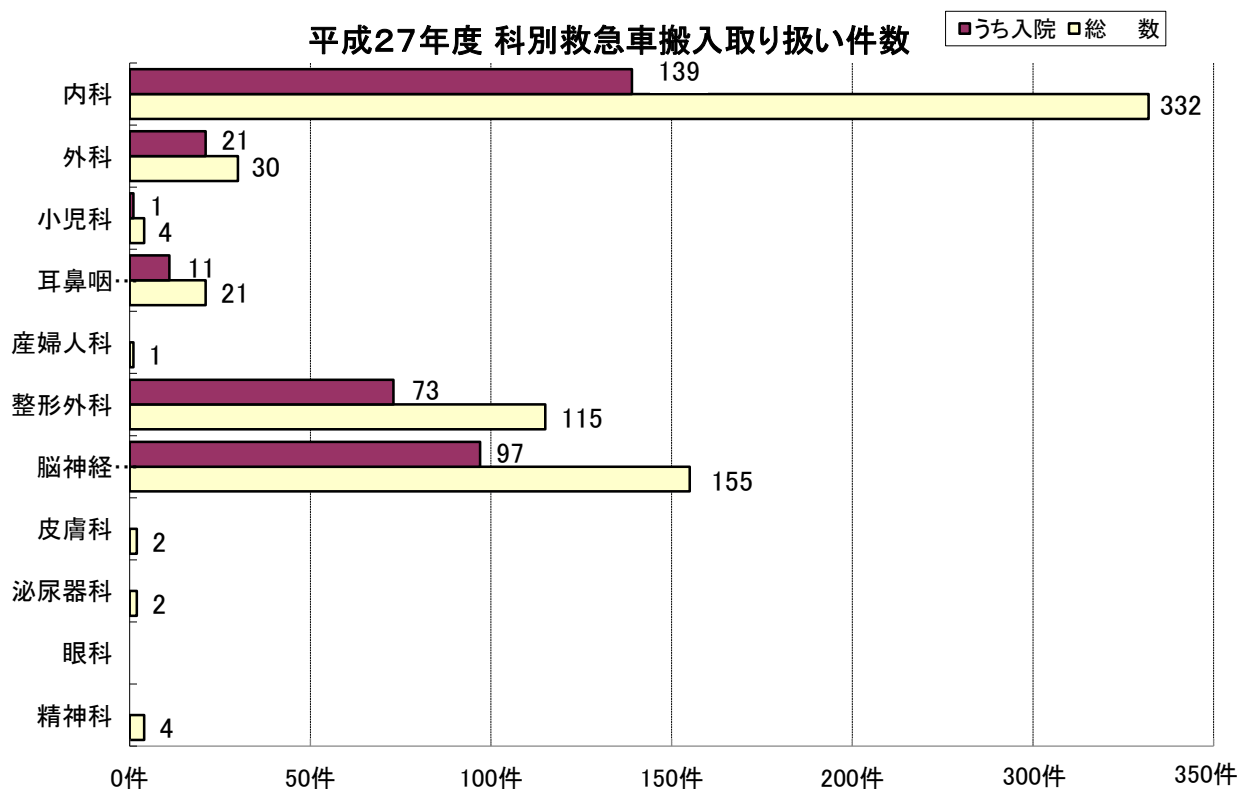


(7)科別救急車搬入取り扱い件数

(単位：件)

区 分	25年度	26年度	27年度	
内 科	総 数	296	335	332
	うち入院	158	152	139
外 科	総 数	42	33	30
	うち入院	28	23	21
小 児 科	総 数	15	4	4
	うち入院	4	1	1
耳 鼻 咽 喉 科	総 数	19	19	21
	うち入院	7	6	11
産 婦 人 科	総 数	0	2	1
	うち入院	0	2	0
整 形 外 科	総 数	111	117	115
	うち入院	55	68	73
脳 神 経 外 科	総 数	170	122	155
	うち入院	101	80	97
皮 膚 科	総 数	6	0	2
	うち入院	0	0	0
泌 尿 器 科	総 数	4	0	2
	うち入院	0	0	0
眼 科	総 数	1	0	0
	うち入院	0	0	0
精 神 科	総 数	1	2	4
	うち入院	0	0	0
総 数 合 計		665	634	666
入 院 合 計		353	332	342

平成27年度 科別救急車搬入取り扱い件数



## 2. 地域医療連携業務の状況

### (1) 紹介・逆紹介の状況

項 目	25年度	26年度	27年度
全診療情報提供書受理数 (件)	1,384	1,344	1,570
初診患者数 (人)	10,728	9,696	9,787
逆紹介数 (人)	1,149	1,318	1,531
紹介率 (%)	13	14	16
逆紹介率 (%)	11	14	16

### (2) 地域連携の状況

脳卒中地域連携パス (件)	25年度	26年度	27年度
	147	129	113

いしかわ診療情報ネットワーク ID-Link登録者数 (件)	25年度	26年度	27年度
			18

オープン検査	25年度	26年度	27年度	
	検体・顕微鏡検査 (件)		24	10
	CT画像検査 (件)		5	16

### (3) 診療圏別紹介医療機関

(平成27年度 単位：人)

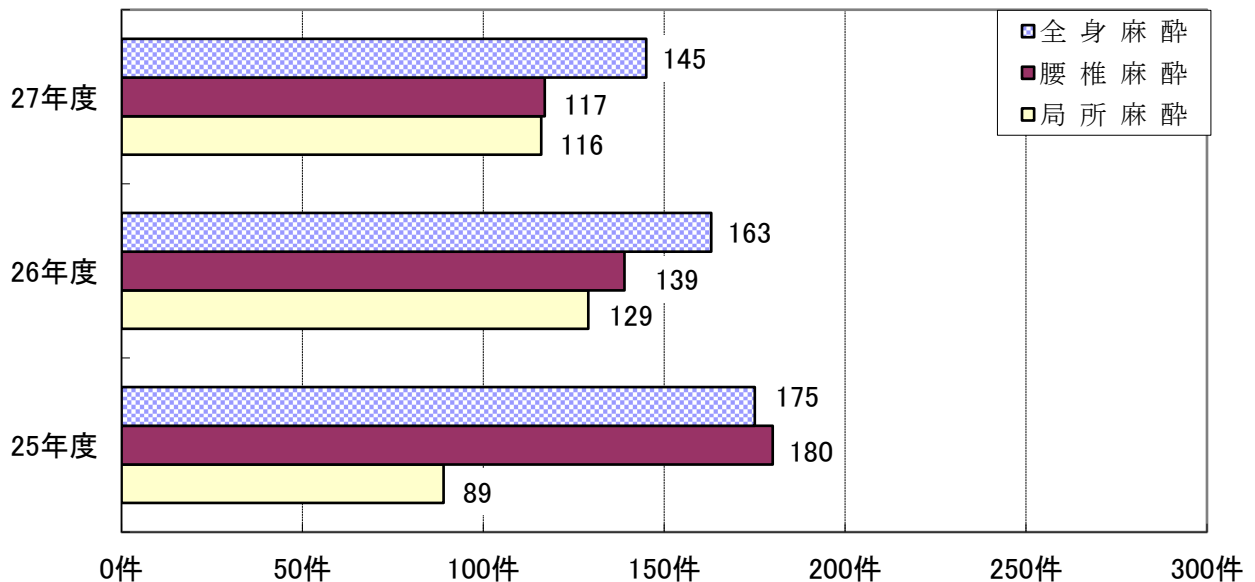
	能登北部	能登中部	石川中央	加賀	県外	総計
大学病院			219		5	224
公立病院	68	50	192	1	16	327
一般病院	5	80	34	1	13	133
診療所	548	5	63	3	34	653
老健等他施設	29					29
総計	650	135	508	5	68	1,366

### 3. 手術の状況

(単位：件)

区 分	25年度	26年度	27年度	
外科	全身麻酔	78	100	79
	腰椎麻酔	34	33	15
	局所麻酔	19	37	24
	小 計	131	170	118
整形外科	全身麻酔	69	49	49
	腰椎麻酔	113	75	65
	局所麻酔	54	72	67
	小 計	236	196	181
脳神経外科	全身麻酔	13	4	11
	腰椎麻酔	1	0	4
	局所麻酔	10	14	18
	小 計	24	18	33
耳鼻咽喉科	全身麻酔	3	6	2
	腰椎麻酔	0	0	0
	局所麻酔	5	6	7
	小 計	8	12	9
産婦人科	全身麻酔	12	4	4
	腰椎麻酔	32	31	33
	局所麻酔	0	0	0
	小 計	44	35	37
内科	局所麻酔	1	0	0
小 計	全身麻酔	175	163	145
	腰椎麻酔	180	139	117
	局所麻酔	89	129	116
合 計	444	431	378	

麻酔別件数



#### 4. 在宅医療及び介護認定の状況

(1) 訪問診察・往診件数 (単位：件)

区 分		25年度	26年度	27年度
利用者数	男 性	281	222	218
	女 性	213	165	166
	合 計	494	387	384
延べ訪問件数		494	387	384
請求内容	介護保険	393	319	331
	医療保険	101	68	53

(2) 科別利用者及び経管栄養・経口者件数

平成27年度	人数	経鼻	胃瘻	経口	その他
総利用者数	448	101	199	135	13
脳外科患者数	234	99	124	11	0
内科患者数	201	2	75	124	0
他科患者数	13	0	0	0	13

(単位：人・件)

(3) 訪問看護件数 (単位：件)

区 分		25年度	26年度	27年度
利用者数	男 性	253	237	226
	女 性	196	182	154
	合 計	449	419	380
新 規	男 性	20	11	16
	女 性	17	8	11
	合 計	37	19	27
終 了	死亡(自宅)	17	6	8
	死亡(病院)	9	15	3
	その他	1	0	5
	合 計	27	21	16
延べ訪問件数		3,135	2,944	2,522
請求内容	介護保険	2,278	2,117	2,148
	医療保険	857	827	374

(4) 主治医意見書作成件数 (単位：件)

区 分	25年度	26年度	27年度
内 科	282	285	259
外 科	24	34	31
整 形 外 科	133	143	167
脳 神 経 外 科	158	178	163
精 神 科	100	104	93
眼 科	2	3	3
泌 尿 器 科	1	0	0
皮 膚 科	1	1	2
耳 鼻 咽 喉 科	2	2	2
産 婦 人 科	1	1	0
合 計	704	751	720

(5) 訪問リハビリ件数 (単位：件)

区 分		25年度	26年度	27年度
利用者数	男 性	57	61	66
	女 性	5	1	0
	合 計	62	62	66
延べ訪問件数		218	204	232
請求内容	介護保険	169	204	232
	医療保険	49	0	0

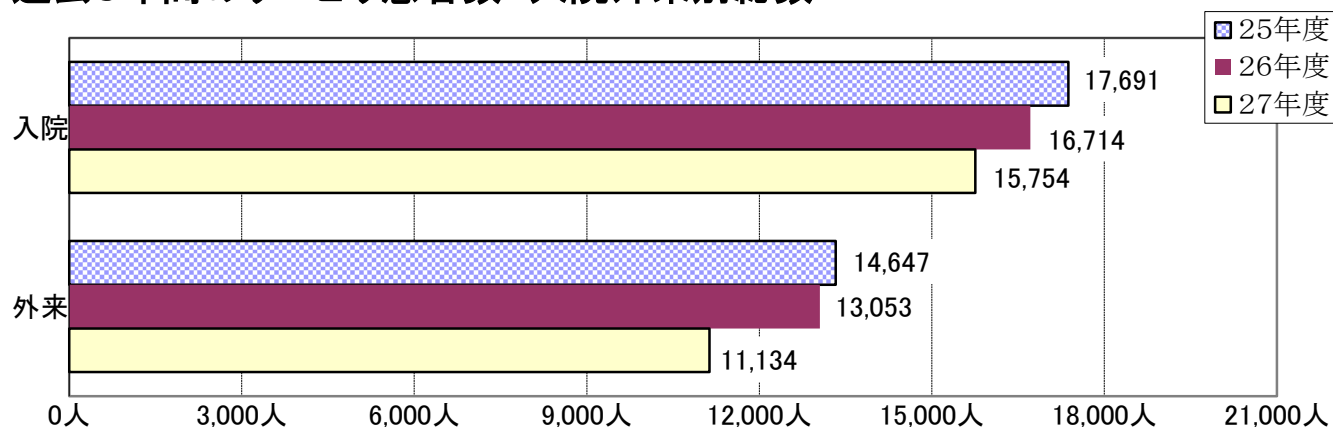
## 5. リハビリテーションの状況

平成27年度

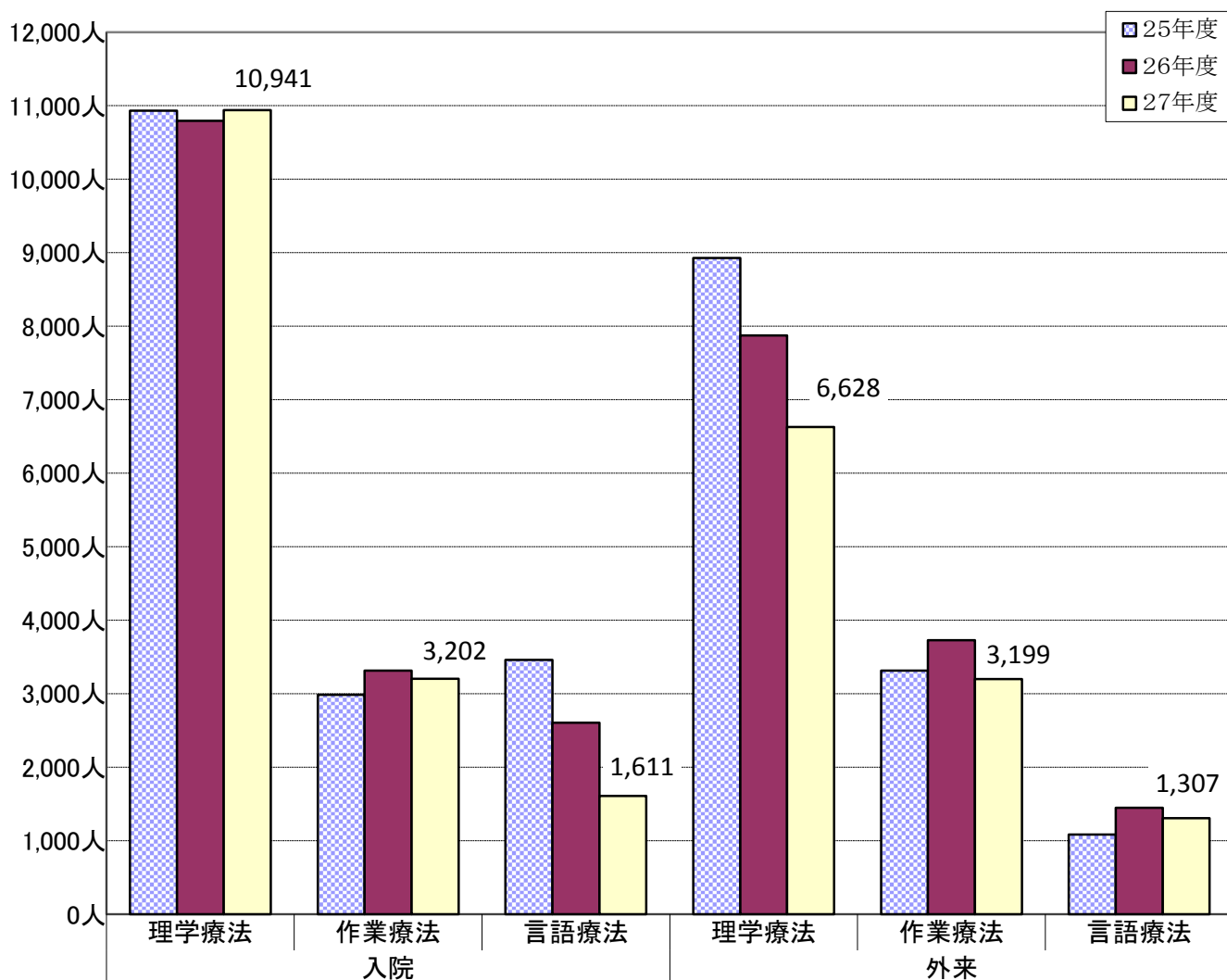
(単位:人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
入院	理学療法	脳血管Ⅱ	183	192	242	267	235	246	233	232	219	277	290	354	2,970
		脳・廃用Ⅱ	52	13	12	7	0	0	0	0	5	0	0	0	89
		運動器Ⅰ	558	534	560	538	476	524	582	477	473	500	566	601	6,389
		呼吸器Ⅰ	126	106	149	142	159	93	100	106	123	128	144	117	1,493
		総合計	919	845	963	954	870	863	915	815	820	905	1,000	1,072	10,941
	作業療法	脳血管Ⅱ	224	162	215	219	176	167	194	164	155	188	226	196	2,286
		脳・廃用Ⅱ	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		運動器Ⅰ	36	68	94	55	38	64	34	40	47	97	75	108	756
		呼吸器Ⅰ	20	9	2	4	19	2	6	4	14	27	32	17	156
		総合計	284	239	311	278	233	233	234	208	216	312	333	321	3,202
言語療法	脳血管Ⅱ	169	109	126	125	125	105	97	113	98	173	195	176	1,611	
	総合計	169	109	126	125	125	105	97	113	98	173	195	176	1,611	
外来	理学療法	脳血管Ⅱ	154	123	124	107	119	98	98	106	122	116	152	137	1,456
		運動器Ⅱ	264	261	275	211	176	187	239	235	290	256	246	295	2,935
		訪問リハ	19	16	14	21	17	13	12	14	16	17	15	18	192
		通所リハ	136	126	150	155	140	134	165	160	167	154	160	179	1,826
		呼吸器Ⅰ	19	14	24	20	20	19	23	21	14	11	16	18	219
	総合計	592	540	587	514	472	451	537	536	609	554	589	647	6,628	
	作業療法	脳血管Ⅱ	104	71	82	73	68	66	63	60	79	68	100	84	918
		運動器Ⅰ	92	80	98	110	107	100	71	64	72	104	137	131	1,166
		訪問リハ	0	0	1	2	1	1	2	1	1	1	1	0	11
		通所リハ	82	70	92	89	91	75	103	97	101	95	105	104	1,104
総合計		278	221	273	274	267	242	239	222	253	268	343	319	3,199	
言語療法	脳血管Ⅱ	102	88	60	67	53	60	72	67	68	55	65	76	833	
	訪問リハ	4	3	5	5	5	7	5	6	6	4	3	5	58	
	通所リハ	29	26	29	34	35	32	37	40	42	36	35	41	416	
	総合計	135	117	94	106	93	99	114	113	116	95	103	122	1,307	

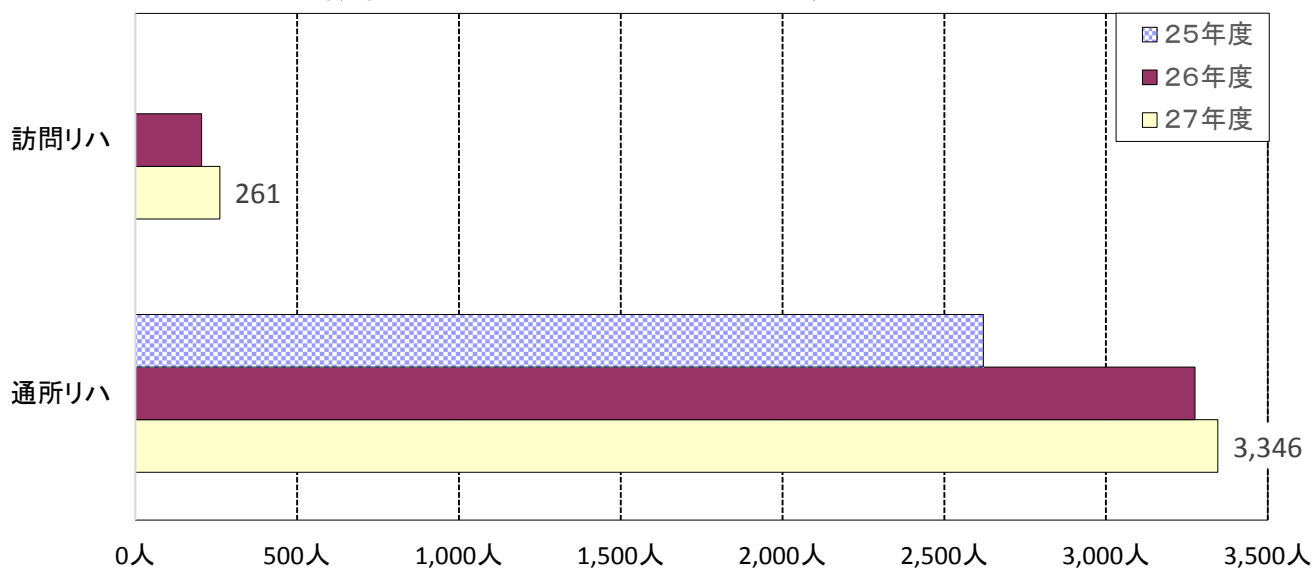
### 過去3年間のリハビリ患者数 入院外来別総数



## 過去3年間のリハビリ患者数 入院外来別部門別数



## 過去3年間の通所・訪問リハビリテーション患者数



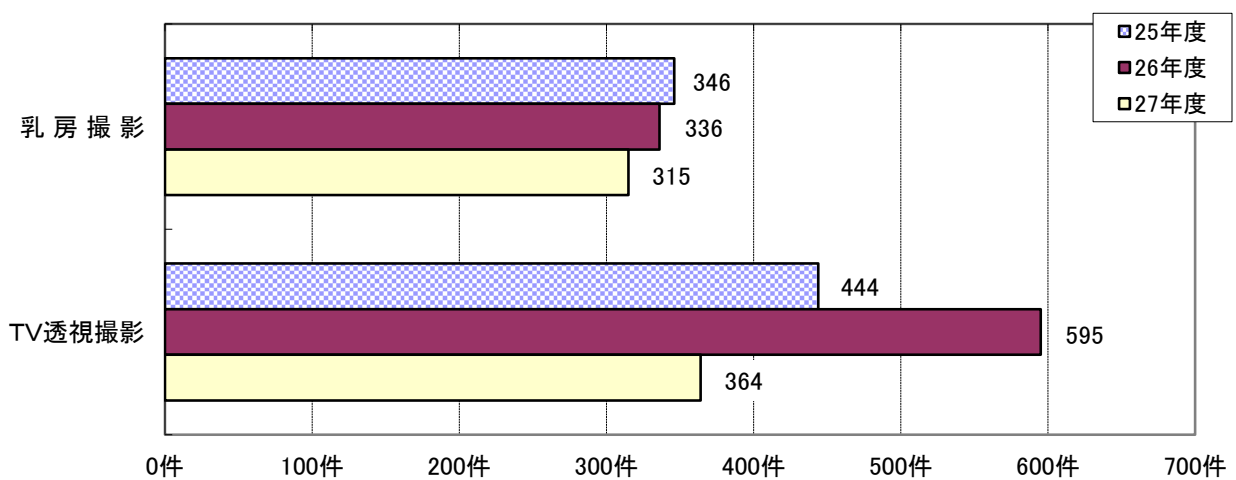
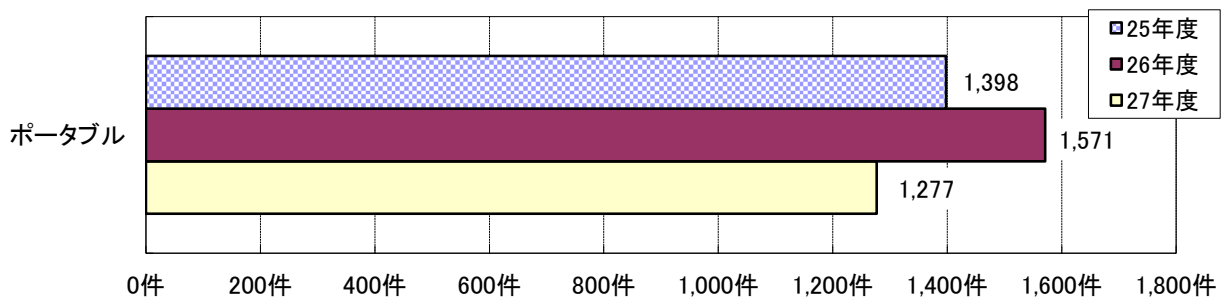
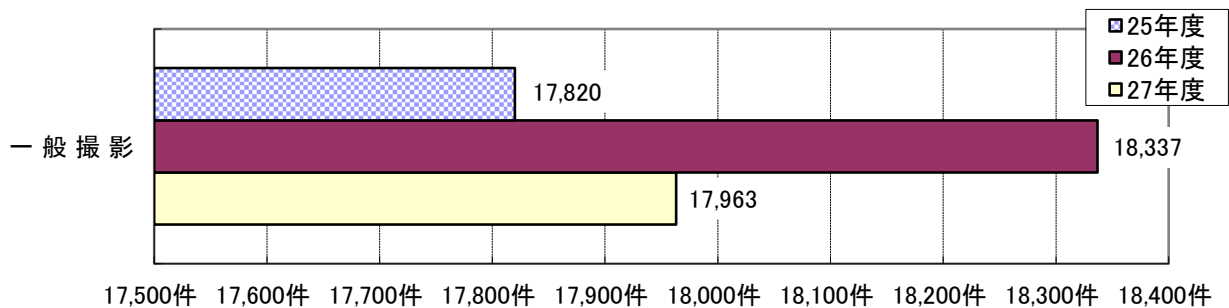


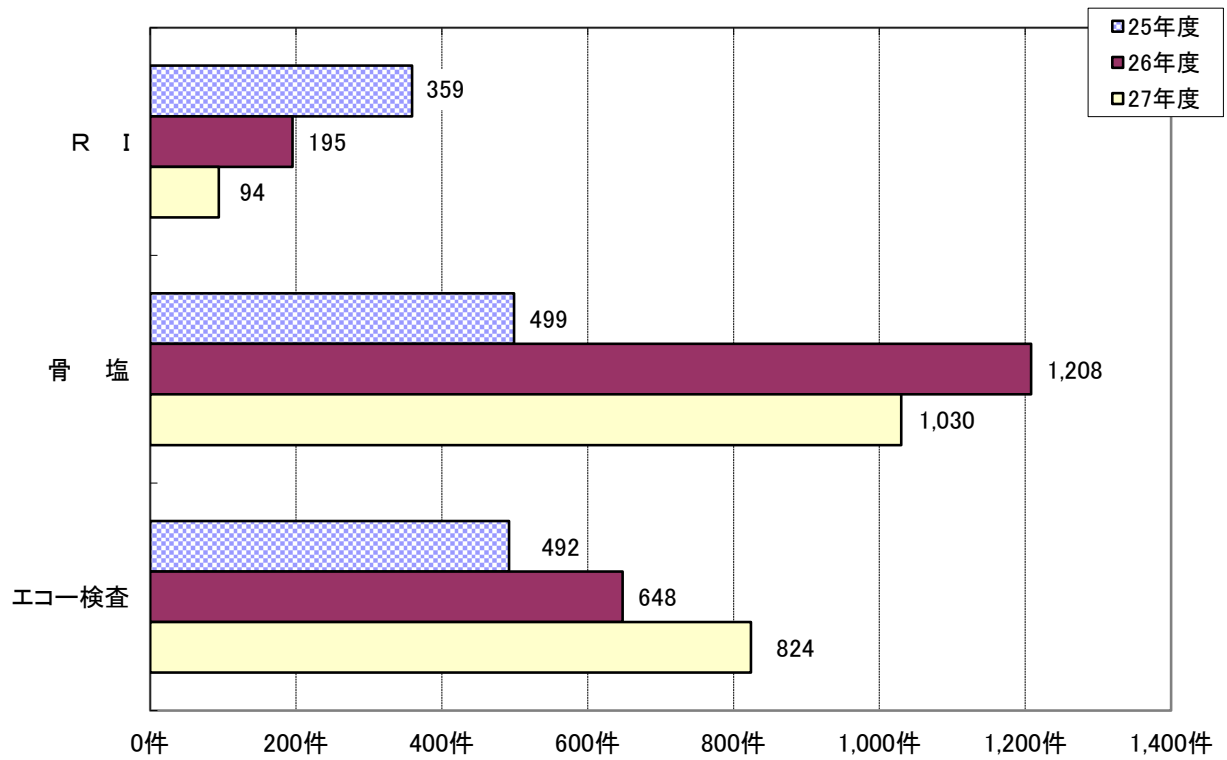
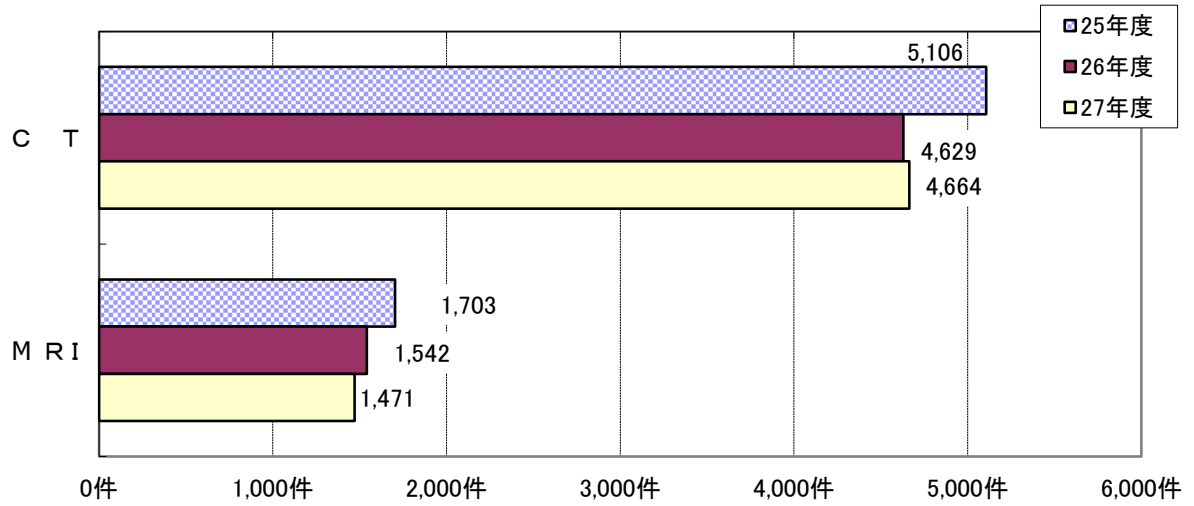
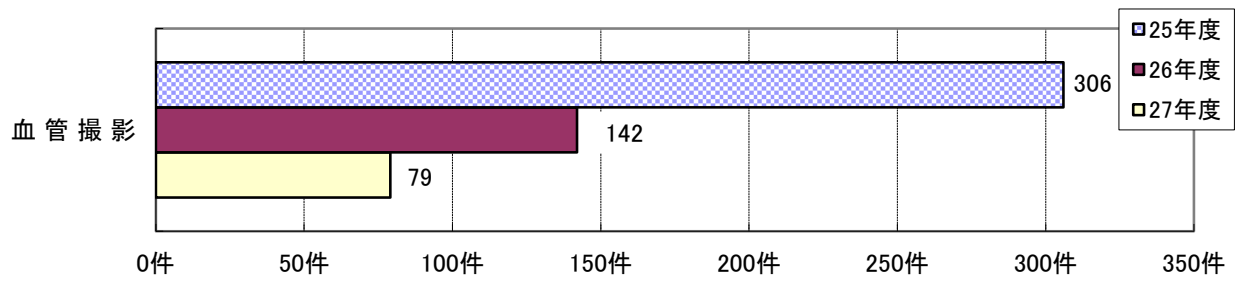
## 6. 放射線の状況

### (1) 撮影件数

(単位：件)

区分	25年度	26年度	27年度
一般撮影	17,820	18,337	17,963
ポータブル	1,398	1,571	1,277
乳房撮影	346	336	315
TV透視撮影	444	595	364
血管撮影	306	142	79
C T	5,106	4,629	4,664
M R I	1,703	1,542	1,471
R I	359	195	94
骨塩	499	1,208	1,030
エコー検査	492	648	824
合計	28,473	29,203	28,081





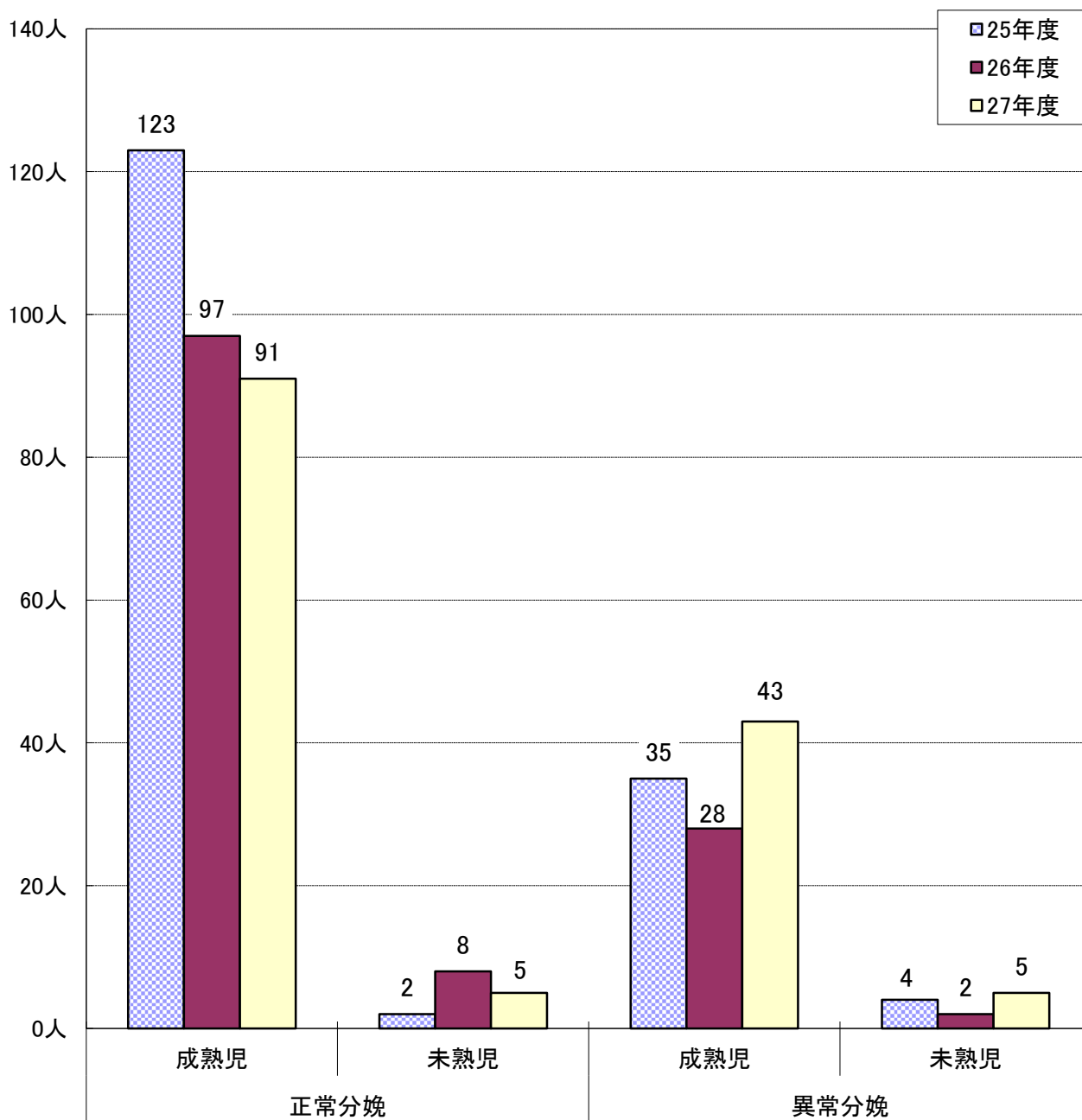
## 7. 分娩の状況

### (1) 分娩の状況

(単位：人)

区分		25年度	26年度	27年度
正常分娩	成熟児	123	97	91
	未熟児	2	8	5
異常分娩	成熟児	35	28	43
	未熟児	4	2	5
合計		164	135	144

### 分娩状況表



## (2)分娩集計

平成27年集計

### ①分娩について(※死産は含まない)

項目	件数
1) 母体搬送を受けた症例	0 例
2) 母体平均年齢	29.3 才
3) 若年齢出産数(20歳未満)	4 人
4) 高年齢出産数(35歳以上)	19 人
(40歳以上)	1 人

項目	件数	比率
(1)全分娩数		
分娩総数	146	100.0%
単胎	145	99.3%
多胎(双胎以上)	1	0.7%
(2)分娩様式		
経膣分娩数	110	75.3%
全帝王切開数	23	15.8%
うち緊急帝王切開数	13	8.9%
(3)医療行為を行った数		
1)吸引分娩	13	8.9%
2)鉗子分娩	0	0.0%
3)会陰切開	2	1.4%
4)会陰裂傷(3,4度)	1	0.7%
5)陣痛誘発促進剤	10	6.8%
6)全硬膜外麻酔	0	0.0%
医学的適応	0	
7)希望による無痛分娩	0	

### ②分娩後の入院期間(小数点1桁)

項目	平均入院日数	
経膣分娩	初産	6.1日
	経産	6.0日
帝王切開	6.4日	

※出産当日を1日目とする

### ③新生児の状況

項目	人数	比率
新生児 総数	147	
在胎週数		
42週以上	1	0.7%
37～41週	139	94.6%
36～28週	7	4.8%
28週未満	0	0.0%
不明	0	0.0%
出生体重		
4,000g以上	0	0.0%
2,500g～3,999g	137	93.2%
1,500g～2,499g	10	6.8%
1,499g以下	0	0.0%
不明	0	0.0%

項目	人数
新生児搬送した症例	3 人
新生児高ビリルビン血症	
母子同室での治療	35 人
母子分離での治療	0 人

項目	人数	比率
母子同室 総数	143	97.3%
健常新生児	129	87.8%
健常新生児以外	14	9.5%
母子異室 NICU入院など	0	0.0%

健常新生児以外の母子同室症例及び症例数

症例	症例数
低出生体重児	12
巨大児	0
低血糖	0
母体薬剤投与	0
その他	3

#### ④母子同室児(健常新生児)の栄養法について

(在胎37週以上42週未満、出生体重2,500g以上4,000g未満)

##### 1)入院中の栄養法

項目	人数	比率
対象新生児数	129	
母乳のみ	115	89.1%
糖水のみ補足	0	0.0%
人工乳のみ補足	14	10.9%
糖水+人工乳補足	0	0.0%
人工乳のみ	0	0.0%

##### 2)退院時の栄養法

項目	人数	比率
対象新生児数	129	
母乳のみ	126	97.7%
糖水のみ補足	0	0.0%
人工乳のみ補足	3	2.3%
糖水+人工乳補足	0	0.0%
人工乳のみ	0	0.0%

##### 3)入院中の体重

	経膈分娩	帝王切開
新生児数	99	30
最低体重日令	2.7	3.0
最低体重(%)	-8.0	-8.9
退院時体重(%)	-3.1	-5.1

##### 4)対象(健常新生児)例の退院後の栄養法

	2週間健診		1カ月健診	
	人数	比率	人数	比率
受診数	128	99.2%	127	98.4%
平均日令	14.8		31.9	
母乳のみ	118	92.2%	102	80.3%
混合総数	10	7.8%	25	19.7%
混合(母乳>人工乳)	7	5.5%	18	14.2%
混合(母乳<人工乳)	3	2.3%	7	5.5%
人工乳のみ	0	0.0%	0	0.0%

### ⑤母子同室(健常新生児以外)の新生児の栄養法について

(2,500g未満などで母子同室を行った例)

#### 1)入院中の栄養法

	人数	比率
対象新生児数	14	
母乳のみ	11	78.6%
糖水のみ補足	0	0.0%
人工乳のみ補足	3	21.4%
糖水+人工乳補足	0	0.0%
人工乳のみ	0	0.0%

#### 2)退院時の栄養法

	人数	比率
対象新生児数	14	
母乳のみ	12	85.7%
糖水のみ補足	0	0.0%
人工乳のみ補足	2	14.3%
糖水+人工乳補足	0	0.0%
人工乳のみ	0	0.0%

#### 3)対象例の入院中の体重減少率

	経膈分娩	帝王切開
新生児数	8	6
最低体重日令	3.4	5.3
最低体重(%)	-8.3	-9.2
退院時体重(%)	-3.1	-1.9

#### 4)対象(母子同室)例の退院後の栄養法

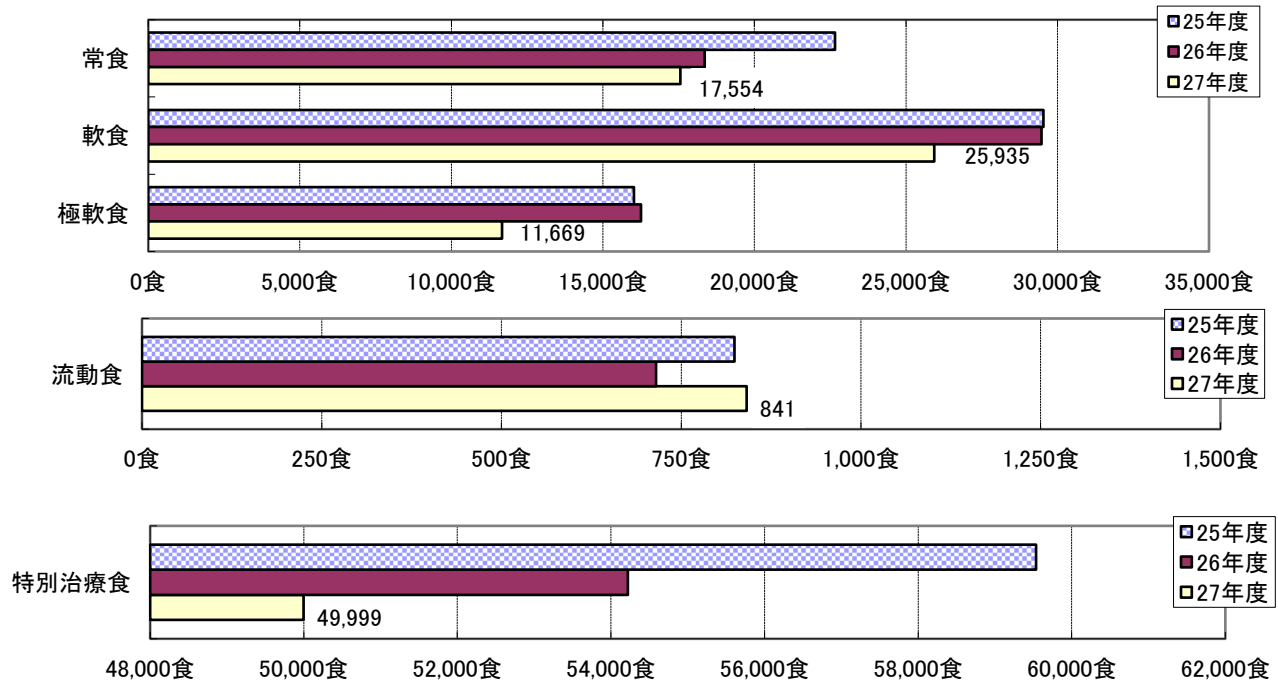
	2週間健診		1カ月健診	
	人数	比率	人数	比率
受診数	14	100.0%	14	100.0%
平均日令	14.8		31.0	
母乳のみ	12	85.7%	13	92.9%
混合総数	1	7.1%	0	0.0%
混合(母乳>人工乳)	1	7.1%	0	0.0%
混合(母乳<人工乳)	0	0.0%	0	0.0%
人工乳のみ	0	0.0%	1	7.1%

## 8. 給食及び栄養指導の状況

### (1) 患者給食数

(単位：食)

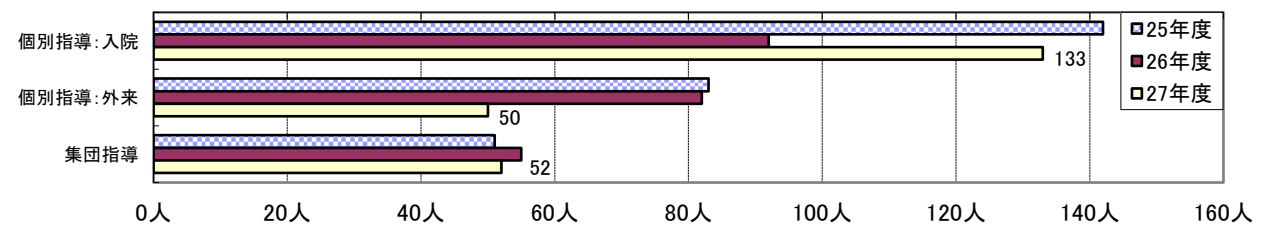
区分	25年度	26年度	27年度
常食	22,655	18,361	17,554
軟食	29,536	29,473	25,935
極軟食	16,022	16,256	11,669
流動食	824	715	841
特別治療食	59,534	54,220	49,999
合計	128,571	119,025	105,998



### (2) 栄養指導数

(単位：人)

区分	25年度	26年度	27年度
個別指導：入院	142	92	133
個別指導：外来	83	82	50
集団指導	51	55	52
合計	276	229	235



### (3) 平均残食率

(単位：kg)

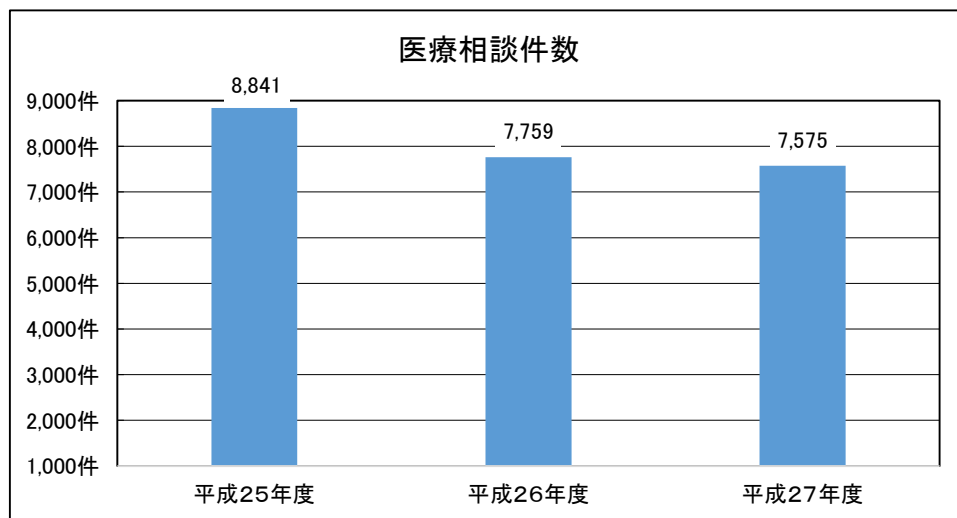
区分	25年度	26年度	27年度
朝食	8.3	5.7	5.1
昼食	10.3	8.0	7.0
夕食	8.3	6.6	5.0

## 9. 医療相談の状況

### (1) 医療相談件数

(単位:件)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
相談件数	8,841	7,759	7,575



### (2) 医療相談状況内容

#### 相談内容集計

(単位:件)

No.	内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	医療費	136	98	58
2	生活費等	36	36	41
3	身体障害者手帳等	243	144	137
4	障害年金相談等	96	84	96
5	介護保険制度等	818	624	531
6	受診・入院相談	208	221	150
7	療養中	1,416	1,165	1,011
8	在宅ケア	1,079	977	919
9	家族関係	625	609	600
10	院内関係	91	68	72
11	院外関係	911	1,017	1,044
12	心理社会	85	46	33
13	理解促進	302	304	327
14	情報交換	1,338	1,251	1,436
15	退院後方針	1,098	799	728
16	住居相談	192	210	285
17	その他	167	106	107



家屋調査

(単位:件)

平成25年度	平成26年度	平成27年度
76	63	76

個別ケースカンファレンス

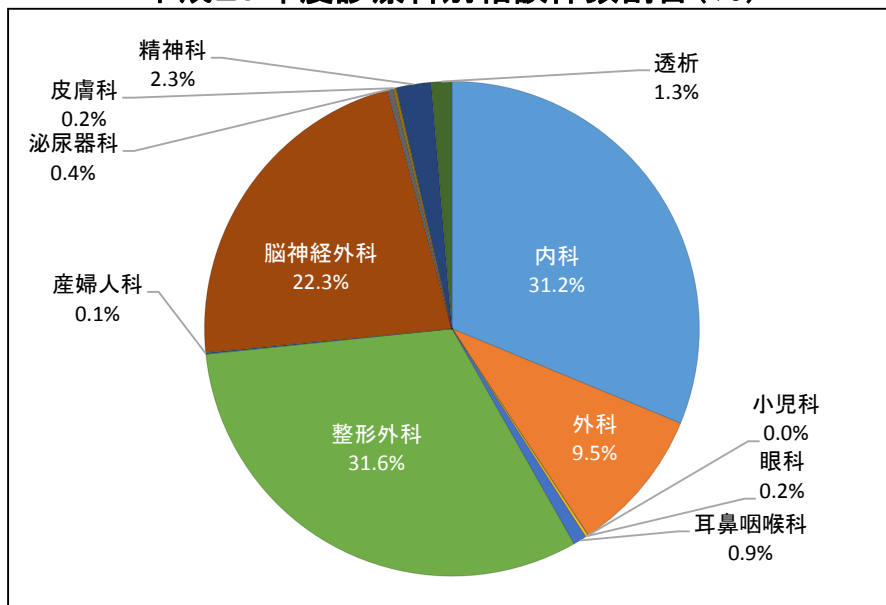
年間 10 件
---------

診療科別相談件数

(単位:件)

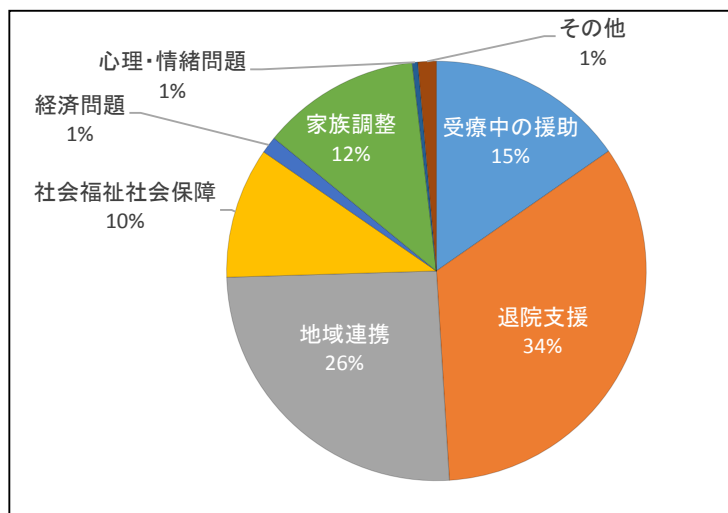
区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
内科	994	893	957
外科	348	419	290
小児科	37	4	1
眼科	1	2	5
耳鼻咽喉科	23	46	27
整形外科	1,004	824	967
産婦人科	7	10	3
脳神経外科	698	716	684
泌尿器科	6	8	12
皮膚科	4	4	6
精神科	218	203	70
透析室	46	56	41

平成27年度診療科別相談件数割合(%)



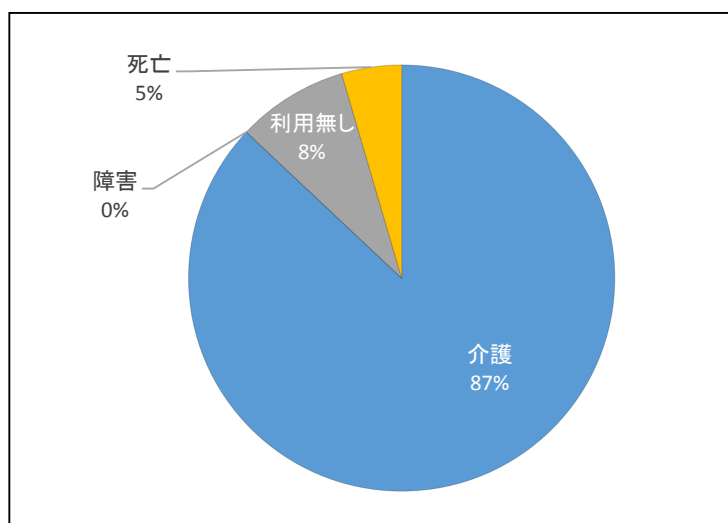
## 相談内容集計表

相談内容集計	件数
受療中の援助	1,161
退院支援	2,552
地域連携	1,932
社会福祉社会保障	764
経済問題	99
家族調整	927
心理・情緒問題	33
その他	107
合計	7,575



## 退院支援

退院支援	件数
介護	134
障害	0
利用無し	13
死亡	7
合計	154

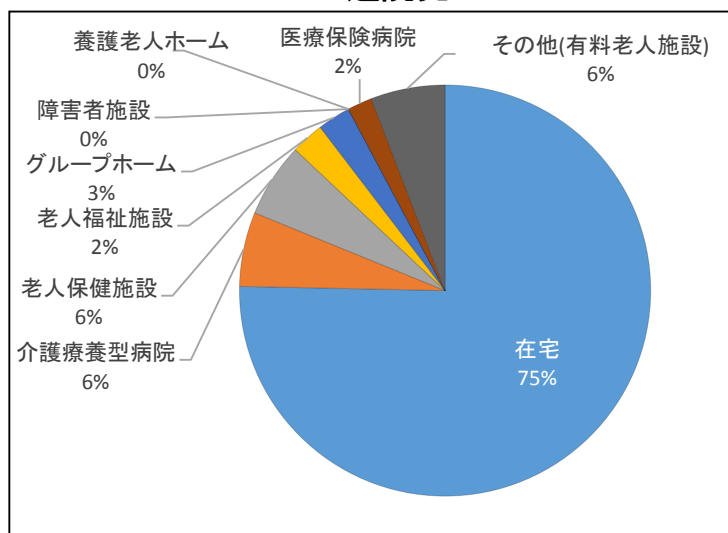


### 退院支援連携カンファレンス

年間 63 件

## 退院先

退院先	件数
在宅	116
介護療養型病院	9
老人保健施設	9
老人福祉施設	4
グループホーム	4
障害者施設	0
養護老人ホーム	0
医療保険病院	3
その他(有料老人施設)	9
合計	154

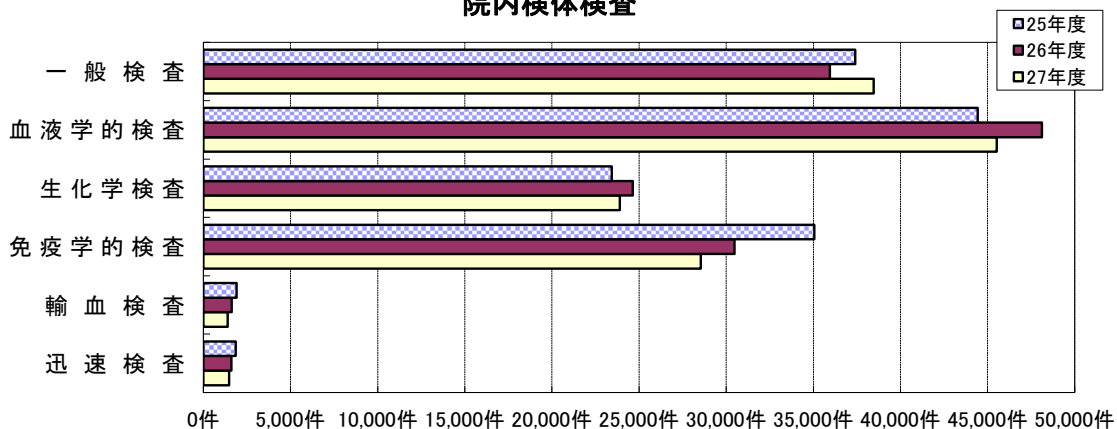


# 10. 臨床検査の状況

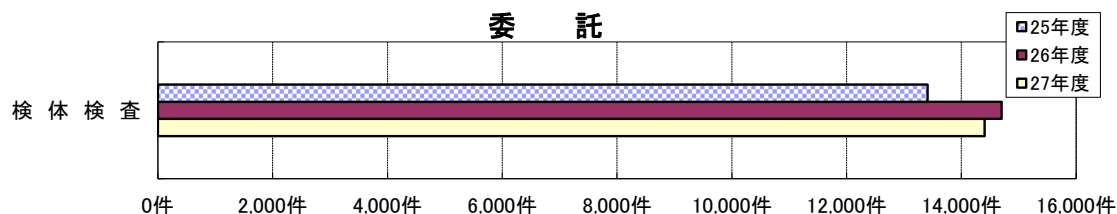
(単位：件)

区 分		25年度	26年度	27年度
院内検体検査	一般検査	37,401	35,954	38,470
	血液学的検査	44,441	48,119	45,520
	生化学検査	23,438	24,634	23,905
	免疫学的検査	35,058	30,480	28,551
	輸血検査	1,900	1,625	1,398
	迅速検査	1,859	1,615	1,468
	総数	144,097	142,427	139,312
委託	検体検査	13,409	14,701	14,405
生理学的検査	心電図(負荷含む)	4,413	4,324	4,090
	ホルター心電図	126	46	62
	呼吸機能検査	415	456	520
	NCV、ABR等	45	48	45
	脳波	34	15	31
	ABI/PWV	826	597	382
	24時間血圧測定	9	1	2
	睡眠ポリグラフイー	24	12	26
	ガス分析	583	661	523
	頸動脈エコー	96	70	84
	心エコー	733	474	546
	下肢エコー	71	60	83
	シャントエコー	149	147	241
	乳腺エコー		55	81
	その他エコー	28	11	30
総数	7,552	6,977	6,746	
微生物学的検査	一般菌塗沫鏡検	1,627	1,613	1,462
	一般菌培養検査	2,765	2,698	2,548
	結核菌塗沫鏡検	294	395	326
	結核菌培養検査	239	396	317
	薬剤感受性試験	2,469	2,595	2,360
	細胞診(標本作成)	221	272	260
	総数	7,615	7,969	7,273
合計	172,673	172,074	167,736	

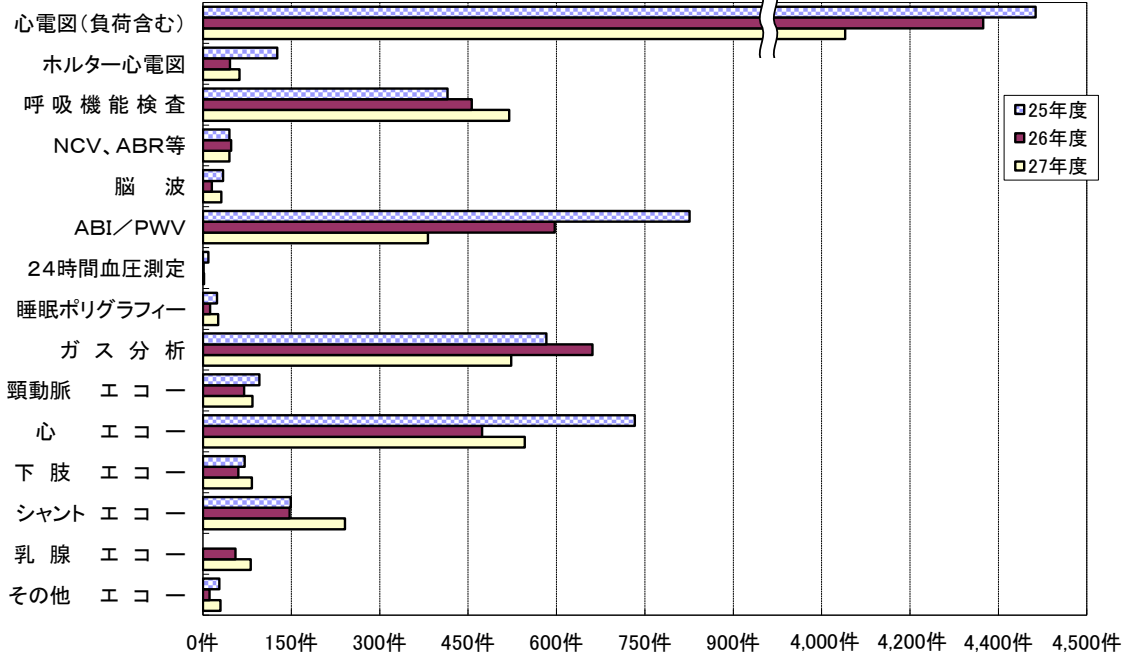
### 院内検体検査



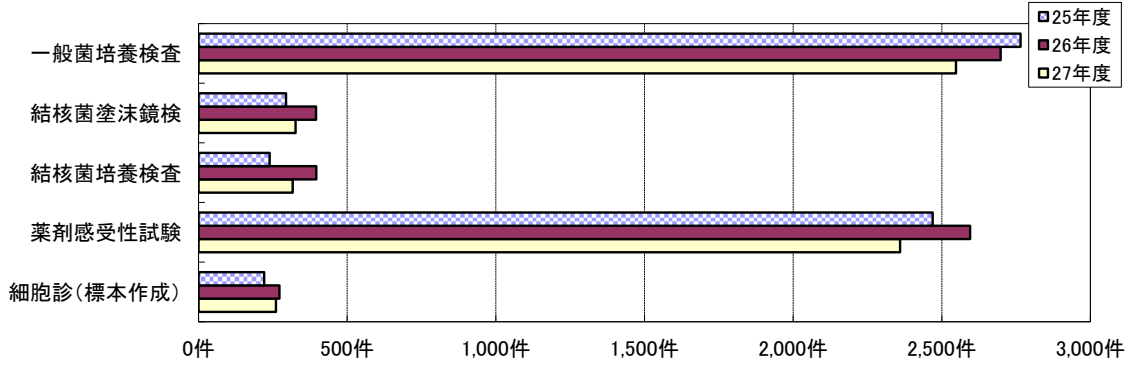
### 委託



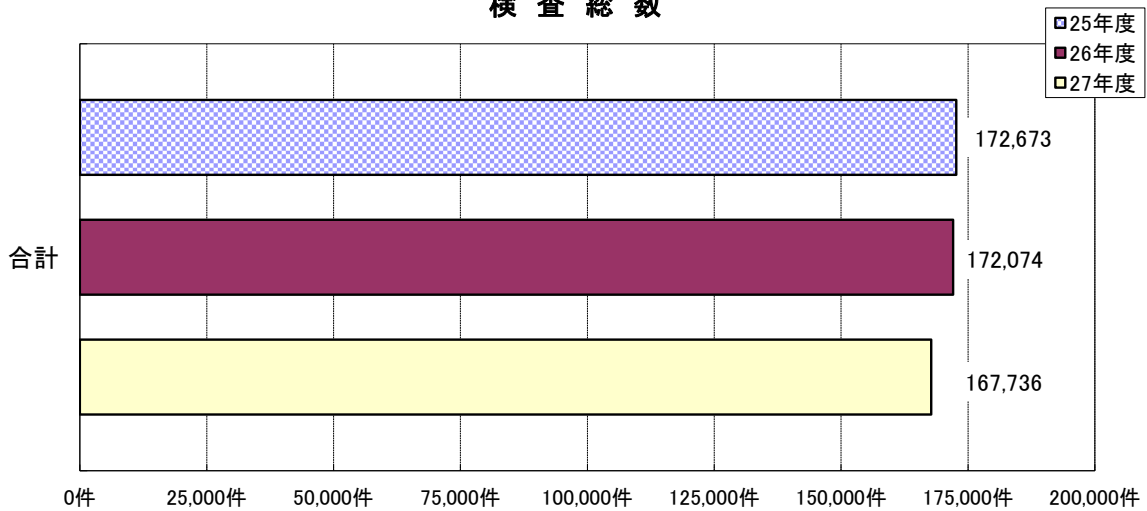
### 生理学的検査



### 微生物学的検査



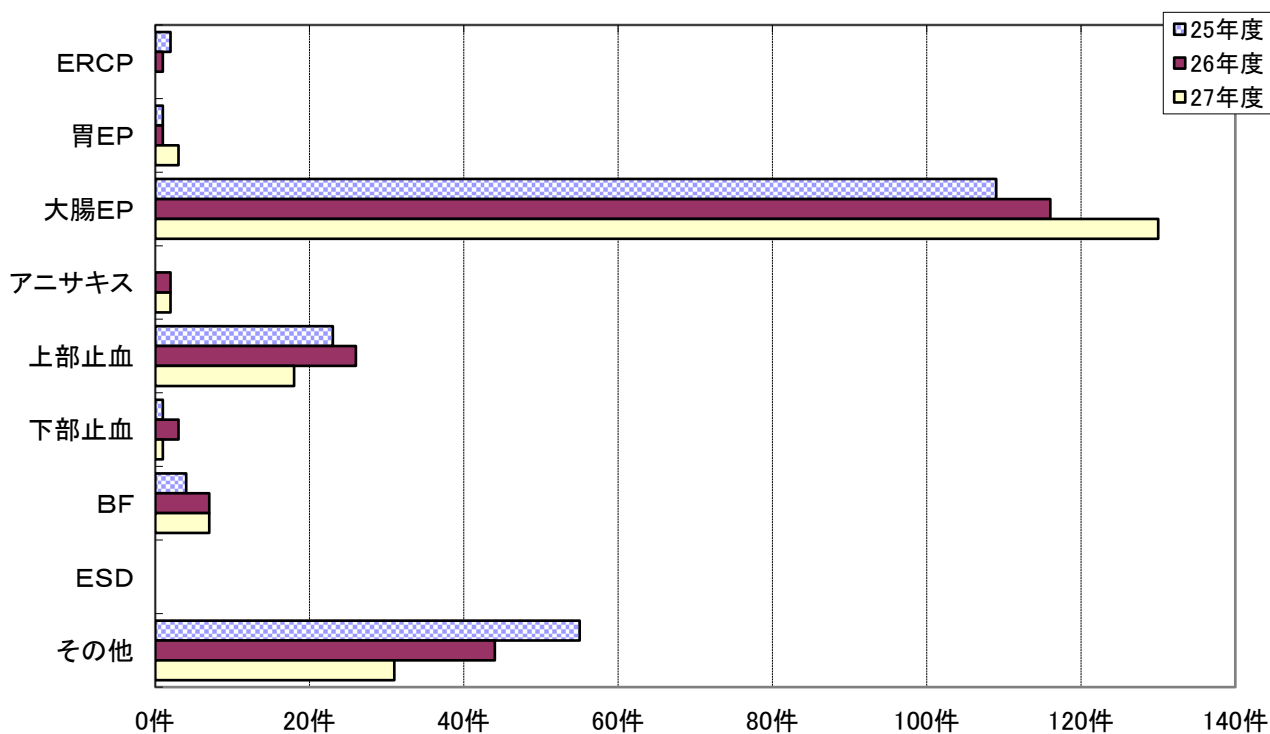
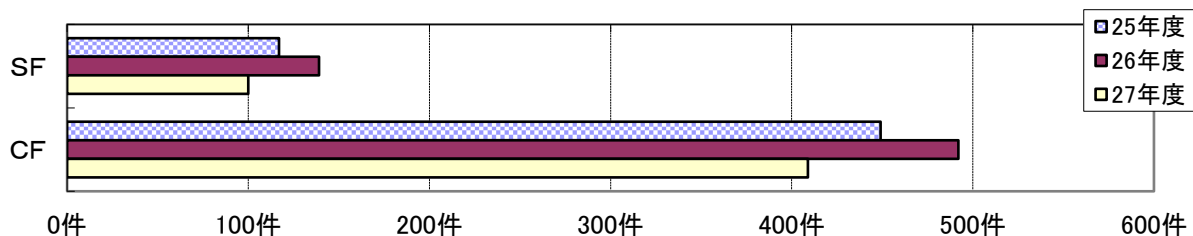
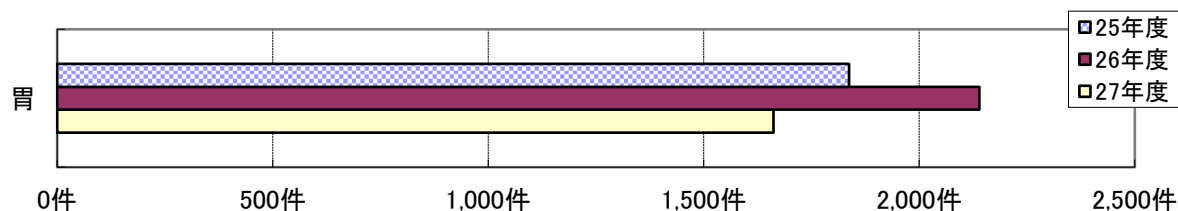
### 検査総数



# 1 1. 内視鏡検査の状況

(単位：件)

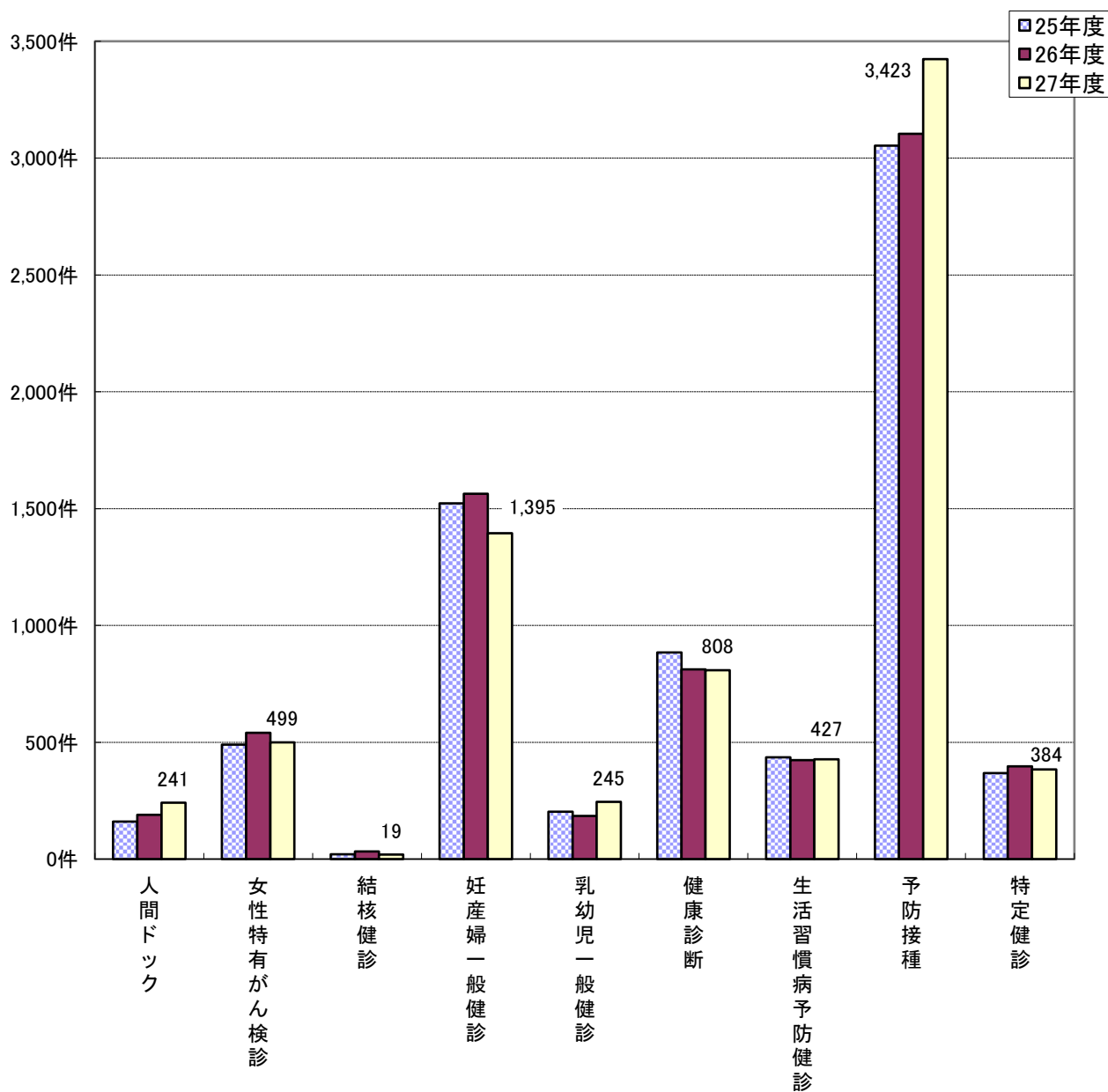
区 分	25年度	26年度	27年度
胃	1,837	2,139	1,662
S F	117	139	100
C F	449	492	409
E R C P	2	1	0
胃 E P	1	1	3
大 腸 E P	109	116	130
ア ニ サ キ ス	0	2	2
上 部 止 血	23	26	18
下 部 止 血	1	3	1
B F	4	7	7
E S D	0	0	0
そ の 他	55	44	31
合 計	2,598	2,970	2,363



## 1 2. 健診及び人間ドックの状況

(単位：件)

区 分	25年度	26年度	27年度
人 間 ド ッ ク	161	189	241
女性特有がん検診	490	541	499
結 核 健 診	21	33	19
妊 産 婦 一 般 健 診	1,523	1,564	1,395
乳 幼 児 一 般 健 診	203	185	245
健 康 診 断	884	812	808
生活習慣病予防健診	436	424	427
予 防 接 種	3,053	3,104	3,423
特 定 健 診	368	397	384

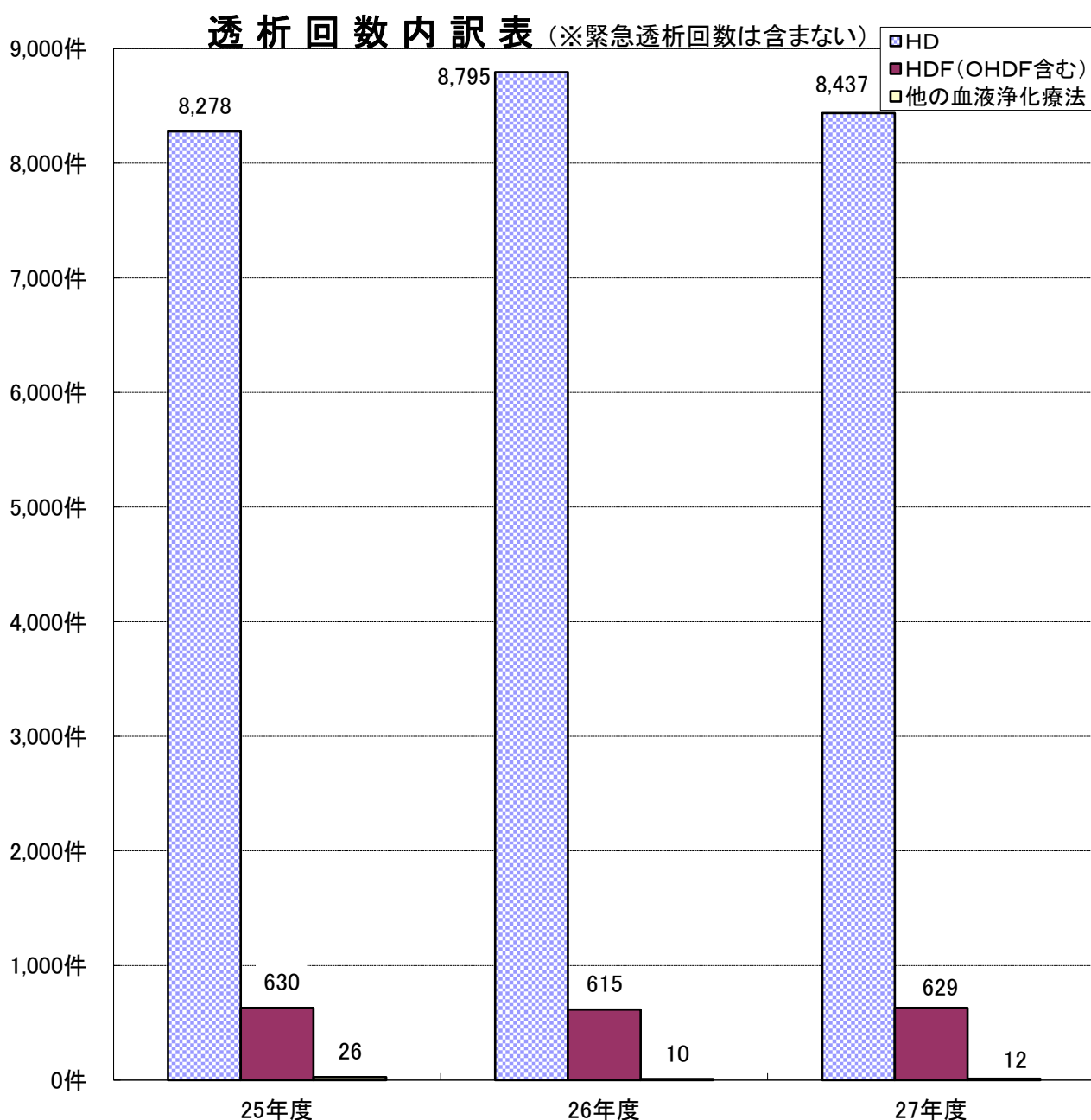


### 13. 人工透析の状況

(単位：件)

区分	25年度	26年度	27年度
透析患者数	714	752	715
院外透析患者数	5	7	2
透析導入患者数	12	8	4
死亡患者数（離脱・転院）	4	5	11
透析回数	8,953	9,410	9,078
H D	8,278	8,795	8,437
H D F（O H D F含む）	630	615	629
他の血液浄化療法	26	10	12
緊急透析回数	13	13	8

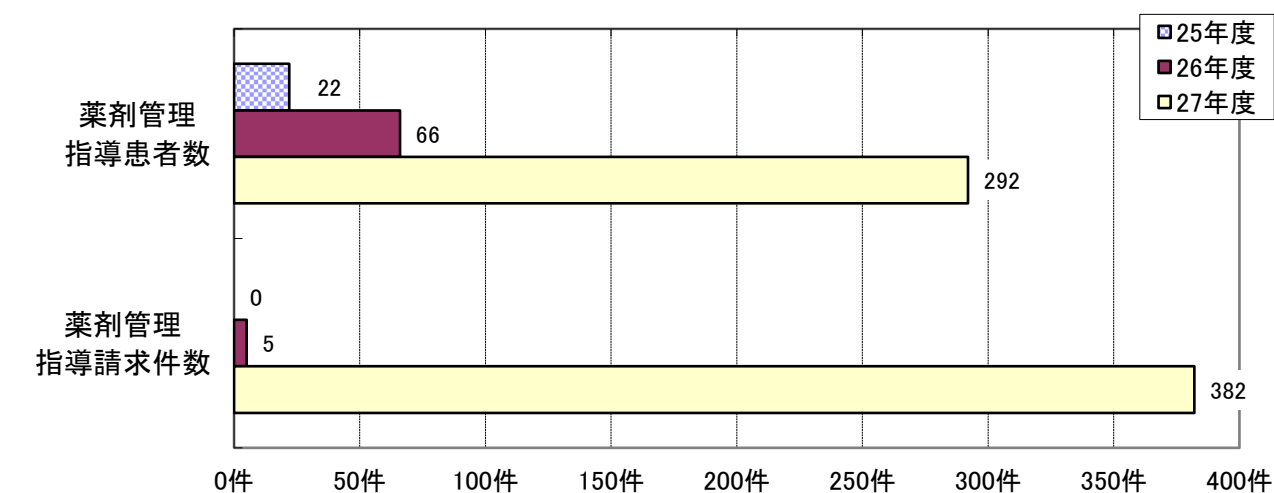
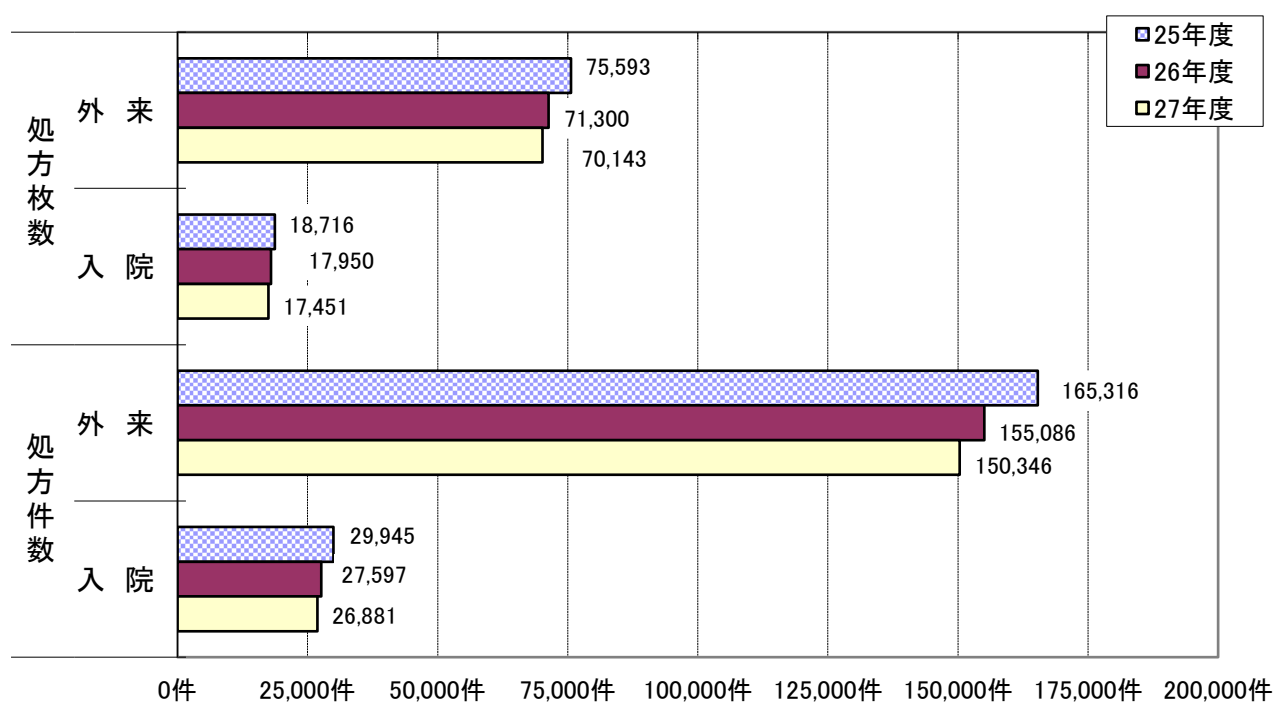
注：()内数字は外数を示したもの



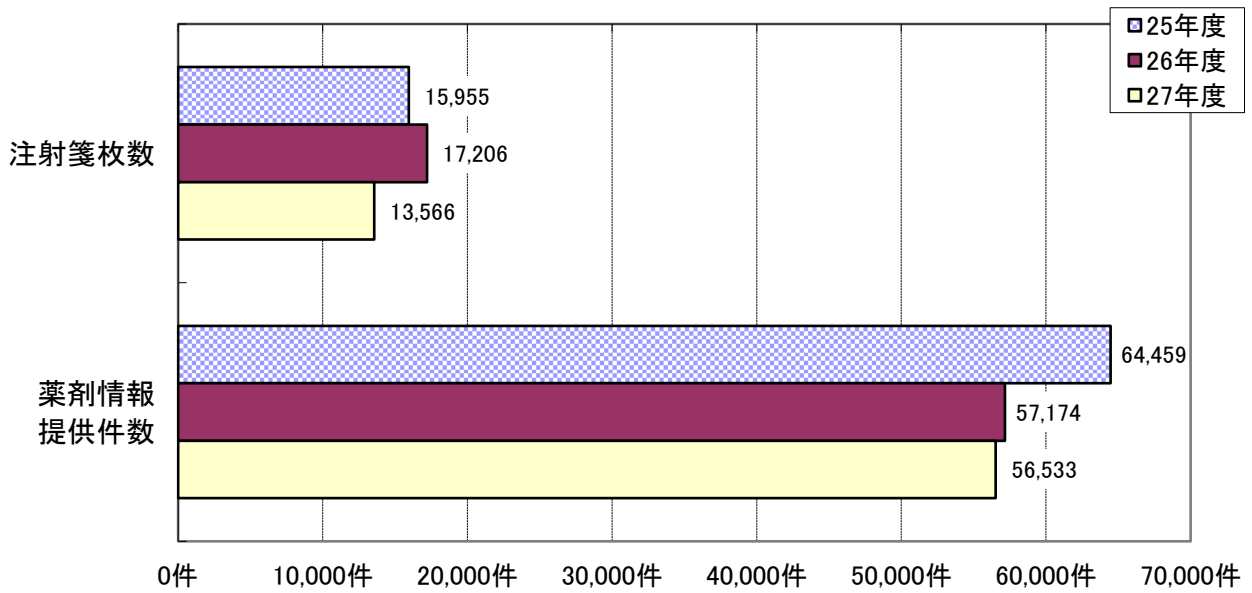
## 1 4 . 薬剤部の状況

(単位：件)

区 分		25年度	26年度	27年度
処方枚数	外 来	75,593	71,300	70,143
	入 院	18,716	17,950	17,451
処方件数	外 来	165,316	155,086	150,346
	入 院	29,945	27,597	26,881
薬剤管理指導患者数		22	66	292
薬剤管理指導請求件数		0	5	382
注 射 箋 枚 数		15,955	17,206	13,566
薬剤情報提供件数		64,459	57,174	56,533



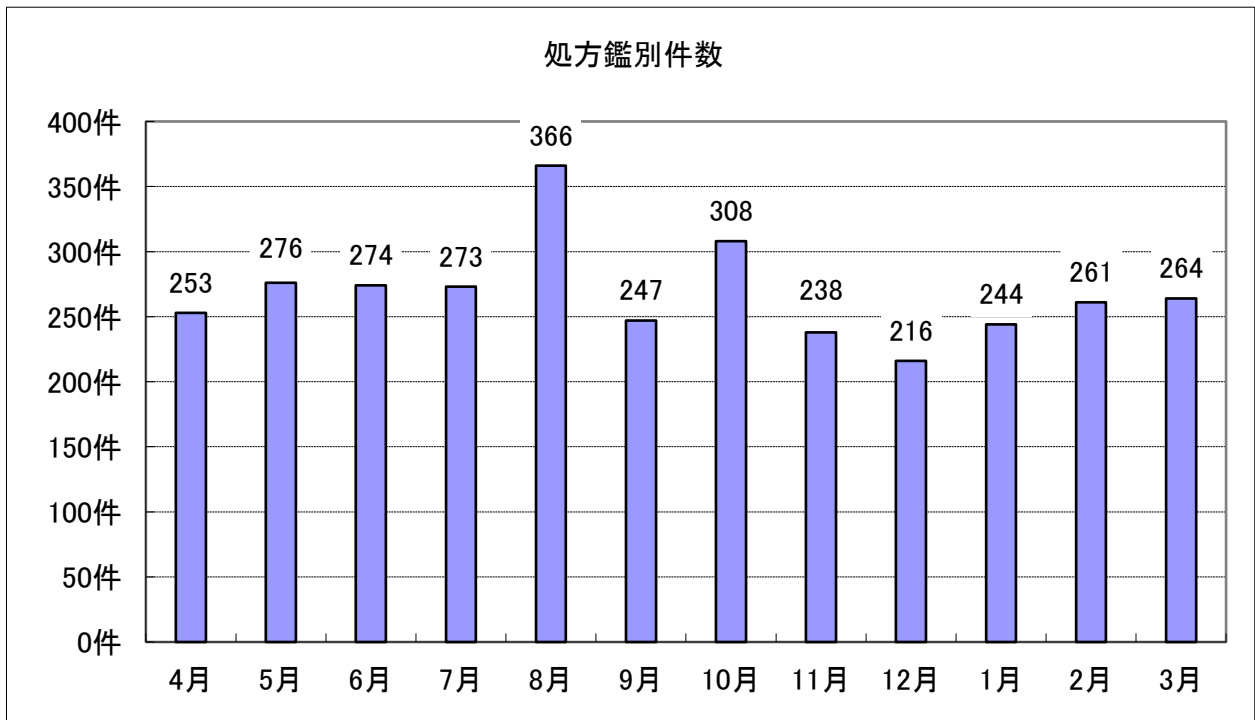




処方鑑別件数

(単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処方鑑別件数	253	276	274	273	366	247	308	238	216	244	261	264



平成 2 7 年 度

研 究 発 表

珠洲市総合病院

○第10回中能登看護研究会

『高齢手術患者の家族が看護師の関わりについて抱く思い』

発表者:泉 珠美

『担当看護師の役割に関する意識調査 -担当看護師役割チェックリスト作成- 』

発表者:埴 規美代

発表日:平成28年2月27日

場 所:七尾美術館 アートホール(七尾市)

# 高齢手術患者の家族が看護師の関わりについて抱く思い

○泉 珠美 向谷睦美 明堂元香 中 洋子

## はじめに

社会の急速な高齢化と医療技術により高齢患者の手術は増加している。A 病院は高齢化率 42%を超える中核病院であり、外科的手術を行った高齢者の手術件数は全体の 65%を占めている。中尾<sup>1)</sup>らは「急性期病院に入院中の患者の家族は、看護師との関わりとして、患者の病状や状況に関する支援を求めている」と報告している。家族は患者へのケアや日々の生活状態に関する情報提供などの支援を求めているが、看護師も家族に情報提供するためのコミュニケーションの方法や、関わり方に難しさを感じている。中村<sup>2)</sup>らは「手術を受ける老年期がん患者の家族員は看護師を身近な存在だと感じていない、看護師とどのように関われば良いか困惑している印象が感じられ、看護師と関わる可能性を自ら試案するもどかしさ」を報告している。そこで私たちは高齢手術患者の家族の思いを明らかにしたいと考えた。

## I 研究目的

A 病院で手術を受けた高齢患者の子世代の家族が看護師との関わりに対して抱く思いを明らかにして、家族に対するコミュニケーションの方法について検討する。

## II 研究方法

対 象 者 : 平成 25 年 7 月から平成 26 年 6 月までに A 病院で手術を受けた高齢手術患者の子世代の家族

調 査 期 間 : 平成 26 年 10 月から平成 26 年 11 月

調 査 方 法 : 調査趣意書、無記名自記式調査票を郵送し、1 家族 1 名の回答で郵送法にて回収した。調査票は独自で作成し内容は属性を選択回答、面会時の看護師の対応、要望などを 4 件法、家族の思いは自由記述を用い調査した。

分 析 方 法 : 属性は性別に単純集計を行い、面会時の看護師の対応と看護師への要望は総数で単純集計を行った。

倫理的配慮 : 対象者に研究の趣旨を書面に説明し、研究協力は任意であること、データは個人が特定できないように分析し、研究が終了した時点で破棄することを文章にて説明した。調査票には返信用封筒をつけ、返送をもって同意を得る形とした。病院の倫理委員会の承認を得た。

### III 結果

調査票は 55 部配布して 33 名から回答があった(回収率 60.0%)。そのうち有効回答者 31 名(有効回答率 56.3%)を分析対象とした。(表 1)

表1 対象者の概要

項目		男性(n=13)	女性(n=18)
		人数(%)	人数(%)
対象者と患者 の続柄	実父	6(46.2)	6(33.3)
	実母	6(46.2)	7(38.9)
	義父	1(7.6)	3(16.7)
	義母	0(0.0)	2(11.1)
自宅から病院 までの 所要時間	30分以内	7(53.8)	12(66.7)
	30分から1時間未満	2(15.4)	1(5.6)
	1時間以上	4(30.8)	5(27.8)
面会頻度	毎日	5(38.5)	12(66.7)
	2回/週以上	3(23.0)	3(16.7)
	1回/週	4(30.7)	1(5.5)
	1回/2週以上	1(7.8)	1(5.5)
	無回答		1(5.5)

面会時に看護師からの声掛けが「毎回あった」20名(64.5%)「時々あった」11名(35.5%)。看護師に「入院生活」「手術」「退院」に関する事で尋ねたい事が「時々あった」が約 40%と最も多く、それ以外では「患者の体調や食欲などの状態」、「退院後の生活」、「治療の必要性」、「安静度」、「認知の状態」、「病気の今後の事」等であった。看護師に尋ねたいと思った 29 名のうち、「尋ねることが出来た」20名(69.0%)「時々出来た」9名(31.0%)であった。看護師の対応について「信頼することが出来た」28名(90.3%)「時々出来た」が3名(9.7%)であった。

看護師への要望として面会に来られない時に聞きたい事があったかでは「毎回あった」1名(3.2%)「時々あった」7名(22.6%)「あまりなかった」19名(61.3%)「なかった」4名(12.9%)で、説明を聞きたいと思った頻度は3~5日に1回、または1週間に1回の連絡を希望しており、「距離が遠いので電話で聞きたい」、「患者の変化の有無、機嫌の良し悪しを日誌的なものや電話、メールなどの手段で連絡が欲しい」と希望していた。その他、「優しい看護師だと面会に来て気持ちがいい」、「家族も精神的ストレス、不安等があると憂鬱になるので、不安や不満を言える関係が築ければよい」等があった。

看護師を身近に感じたかでは「毎回感じた」12名(39.0%)「時々感じた」15名(48.0%)「あまり感じなかった」2名(6.5%)「全く感じなかった」2名(6.5%)であった。看護師を身近な存在だと感じた理由として、13人からの回答を得て、2つのカテゴリーと5つのサブカテゴリーに分類し、看護師を身近に感じない理由として2つのカテゴリーと3つのサブカテゴリーに分類した。(表 2、表 3)

表2 看護師を身近な存在だと感じた理由

カテゴリー	サブカテゴリー	コード
看護師の対応	①笑顔	笑顔で話かけてくれた時 あまり来る事はなかったが、来た時は笑顔で接してもらえた
	②声掛け	気軽に声を掛けて下さり、とても親切でした 状況に応じて話をして頂いたり、気軽に声をかけてくださったり私からの声かけに対して説明して頂くことが出来ていると感じています
		声かけが親身に感じた 特に地域の言葉(方言)が安心感をもたらすことができました 患者である本人もこの点からも「近所の病院で良かった」と申ししていました
		必ず声をかけてくれた
		母や他の患者さんに声をかけている時
③看護師のプライベートな経験談が聞けたこと	自分の生活なども話してもらえたこと プライベートな事を話してくれたり、ご自分の経験上でのアドバイスをしてくれた時	
④患者家族が看護師に話出来る	良く顔を合わせ、度々話を交わすようになった時	
	色々話したものです	
看護師を信頼する	⑤臨機応変に対応をする姿を見て、看護師を身近に感じる	看護師さんの交替の時など「今日は私が担当です」と必ず顔を見せて下さり患者も安心して入院生活を送れました。また腰が痛いというすぐにクッションとか持ってきていただき本当にうれしく身近に思いました
		耳が遠い父にきちんと向きあってくれた 下着がたりなくなったら病院の物を着せてくれていたので助かりました

表3 看護師を身近な存在だと感じられなかった理由

カテゴリー	サブカテゴリー	コード
看護に遠慮する	①看護師の人数が少ない時は忙しそうに感じる	(担当の看護師さんがおいでなく皆さんが忙しそうだと感じた時 ナースステーションにいる看護師人数が少ない→忙しそうだと感じた 夜など看護師が少ない人数にいる時
		ナースセンター内で仕事をされている時 忙しかった時(看護師さんが)
	②看護師が忙しそうに働いている姿を見たとき	
看護師への不満	③不快に感じる	看護師さんが、かなり強い口調で言われた時 上から目線

#### IV 考察

先行研究では手術を受ける高齢手術患者の家族が看護師と関わる事が少なく、身近な存在だと感じられないという思いがあげられていた。A病院では、【看護師の対応】として看護師の言葉、行動が身近に感じられる要素となっている。笑顔、声かけ、看護師の経験談が聞け、会話することで身近に感じていた。普段聞きなれている方言で話すことも、患者にも安心感を与えられ家族にも会話のしやすい環境になったと思われる。

【看護師を信頼する】家族は患者の訴えや状況に対応している看護師の臨機応変な姿で安心し、また患者と向き合う姿勢で身近に感じていた。しかし、患者家族が看護師との意思のやり取りが出来ない状況の時で声を掛けるタイミングが見計れなかったときに【看護師に遠慮する】し、身近に感じていなかった。

中村<sup>7)</sup>らは、「看護師とどのように関わればいいのか困惑する背景には、看護師によって対応が異なる事や看護師と話すきっかけが得られない状況がある」と述べているように、【看護師への不満】は看護師の言葉遣いや態度が患者家族にとって不快感を強く与え、その後の家族と看護師の関係に影響を及ぼすことで身近に感じられていなかった。看護師の一つ一つの言葉は、手術を受けた患者家族の気掛かりや不安等の思いを左右することとなっている。

家族が面会に来られない時、医師からの病状の説明や経過を知りたいのではないかと考えてい

た。しかし高齢患者の家族は患者の体調や食欲、今後の生活の事について尋ねたいと思っていた。家族は高齢である親の病状以外にも、食事や排泄、活動状況等日常生活に対しての事に関心がある。そのため手術を受けた高齢患者の家族に対し、面会時には声かけを行い、看護師と家族の信頼関係を築くためコミュニケーションを十分に図っていく。また、家族が面会に来ることが出来ない時の患者の状況には、電話対応を行ったり、面会時に看護師に遠慮せずに聞くことが出来、十分に話せるような心配りがあれば患者家族が満足出来、家族が看護師をより身近に感じられると考えられる。

## V 結論

高齢手術患者の子世代の家族が看護師との関わりに対して抱く思いについての調査の結果、87%が看護師を身近に感じていた。

1. 高齢手術患者の家族は、面会時の声かけやアドバイス等、親身に話してくれた時、また患者に接する態度や対応で身近に感じていた。
2. 高齢手術患者の家族は、看護師との意思のやり取りが出来ない時に身近に感じていなかった。
3. 家族と看護師がお互いにコミュニケーションを円滑に行う事が出来れば、信頼関係も築けることが出来る。

本研究では独自に作成した質問紙を用いたため信頼性と妥当性は十分でなく、詳細な内容を把握できなかった。今後は家族の思いをふまえ、患者家族との関わりを行っていく。

## 引用文献

- 1) 中尾由佳・中村朱芳・郡司亜希  
患者家族が望む看護師の関わりに関する調査  
第 39 回成人看護Ⅱ 45-47 2008
- 2) 中村英子・増島麻里子・眞島朋子  
手術を受ける老年期がん患者の家族員が看護師とのコミュニケーションにおいて抱く思い  
千葉看会誌 27-34 2010

## 参考文献

- 1) 細川順子  
手術を受ける高齢者の家族へのケア  
ope nursing 28-38 2000
- 2) 青山みどり  
心臓手術患者の家族支援に関する研究-家族の患者への思い、医療者の対応への思い  
heart nursing 60-62

# 担当看護師の役割に関する意識調査 -担当看護師役割チェックリスト作成-

○埒 規美代 丹保 純 宮下景子 福島美津子

## はじめに

当院の看護方式は固定チームナーシングである。当病棟においても継続した看護を提供するため、受持ち看護師(以後、担当看護師という)を決め患者の看護問題に取り組んでいる。しかし、患者の日々の看護問題の評価やケアの修正はチームが主体となることがある。担当看護師の役割について西元<sup>ら</sup>は、高い質の継続医療・看護・介護を提供する。受け持ち患者の問題に取り組み、成果を出すことであると述べている。

そこで、担当看護師役割のチェックリストを使用することにより、担当看護師としての役割意識に変化がみられ満足感の向上が得られたのでここに報告する。

## I 研究目的

担当看護師の役割に関するチェックリストを作成し使用することで、担当看護師としての役割意識に変化がみられるか調査を行う。

## II 用語の定義

担当看護師:本研究では、固定チーム受持ち看護師のことを指す

## III 研究方法

調査対象 : 当病棟担当看護師 15 名

調査期間 : 2014 年 5 月～9 月の 5 か月間

調査方法 : チェックリストを作成。使用前アンケートを行い、使用方法の説明と担当看護師の役割について勉強会を実施した。5 ヶ月後に使用後アンケートを実施。チェックリストは、個人に配布し、病棟内のすべてのパソコンに表示。月 2 回(病棟会・チーム会)の声掛け実施。アンケート用紙には対象者自身に番号の設定を依頼し、使用後も同様の番号の記入を依頼した。

分析方法 : 各項目を「よくできている」4点、「できている」3点、「あまりできていない」2点、「できていない」1点とした。使用前後ともに単純集計を行った。また、使用前後の間のウィルコクソン符号付順位検定を行い、有意確率は $p < 0.05$ とした。

倫理的配慮: 研究の主旨や方法を説明し、参加の拒否や途中破棄の場合も不利益を被らないこと、終了後データを破棄すること、個人情報の保護を説明し、院内の倫理委員会で承認を得た。アンケートは無記名とし、研究以外に使用しないことを説明し用紙の提出を持って研究協力への同意とした。

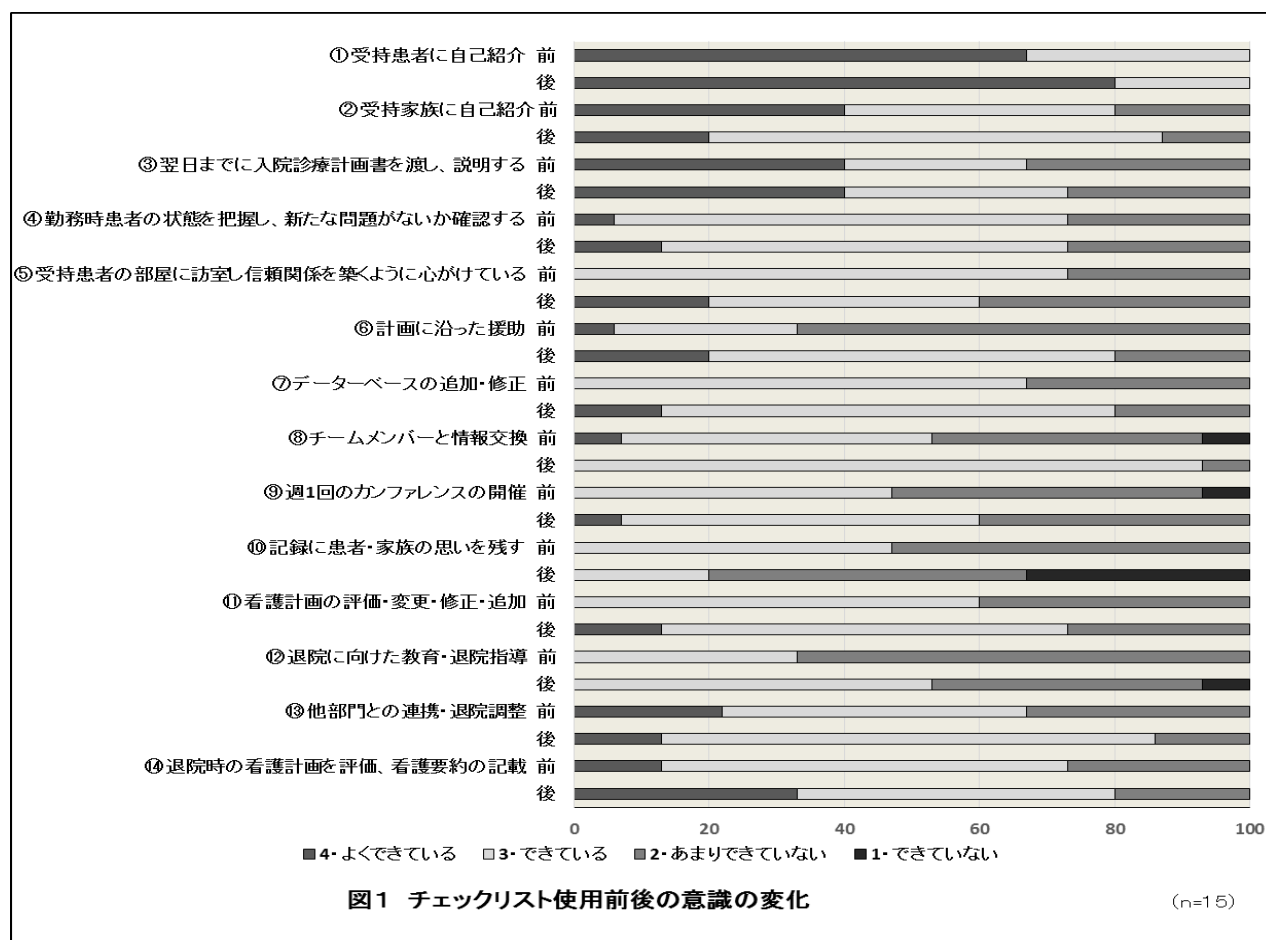


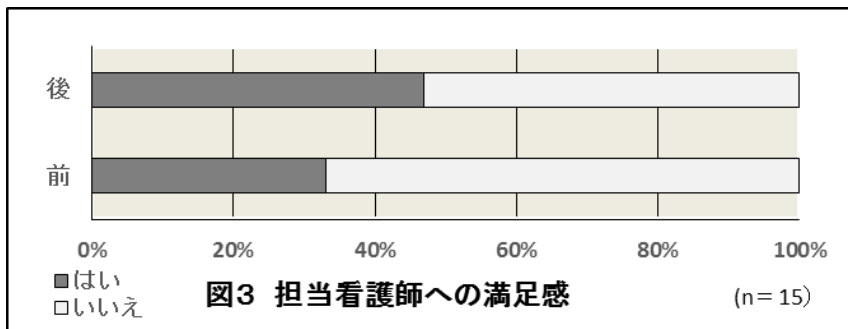
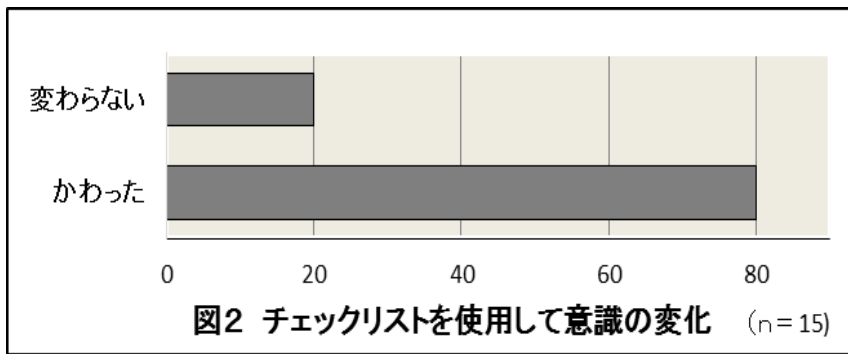
#### IV 結果

調査票は 15 部配布し、有効回答者は 15 名(有効回答率 100%)であった。

チェックリストの使用前後の比較では合計点に有意差を認めた。また、②受持家族に自己紹介、⑤受持患者の部屋に訪室し信頼関係を築くように心がけている、⑦データベースの追加・修正、⑩記録に患者家族の思いを残すに有意差を認めた。

- 図 1 について、①受持ち患者への自己紹介は「よくできている」が 12 名(80%)、⑥計画に沿った援助は「できている」が 9 名(60%)、⑦データベースの追加・修正は「よくできている」が 2 名(13%)、⑧チームメンバーと情報交換は「できている」が 14 名(93%)、⑨週 1 回のカンファレンスの開催は「できている」が 8 名(53%)、⑪看護評価・変更・修正・追加の自己評価は「よくできている」2 名(13%)、⑫退院に向けた教育・退院指導は「できている」が 8 名(53%)、⑬他部門と連携、退院調整は「できている」が 11 名(73%)の 8 項目において「よくできている」「できている」の割合に上昇がみられた。⑤受持患者の部屋に訪室し信頼関係を築くように心がけているは「あまりできていない」が 6 名(40%)、⑩患者家族の思いを記録に残すは「できていない」が 5 名(33%)の 2 項目においては「あまりできていない」「できていない」の割合に上昇がみられた。
- 図 2 について、意識の変化に「かわった」と回答したのは 12 名(80%)だった。
- 図 3 について、使用前に満足を感じていた看護師は 5 名(33%)であったが、使用後は 8 名(53%)に上昇した。





## VI 考察

「よくできている」「できている」の割合が上昇した8項目は、受持ち患者への関心が高まった事で、患者に接しようと思っただけのためではないと思われる。また、チームカンファレンスを行ない担当看護師が主となり問題提起し、情報を共有するように心掛けたと考えられる。このことから担当看護師が不在の時でも情報を共有し、継続的な看護の提供でき満足感を感じられたからではないかと考える。

一方、「あまりできていない」「できていない」の割合が上昇した2項目は、チェックリストを使用したことで振り返ることができ受持患者の部屋に訪室している機会が少ないのではないかと感じられたと思われる。また、当院の患者は高齢世帯や一人暮らしの世帯が多く家族が遠方に住んでいる場合もあり家族の思いを得ることは容易ではない。チェックリストを使用し役割を再認識したことで患者や家族に対しての関わりを振り返ることができ自己評価が下降したと考えられる。

西元ら<sup>2)</sup>は、チェックリストを使用する目的を①看護職の責任と質の高い継続看護の実践②看護スタッフのやりがい感・自己実現を目指す③看護スタッフの育成に近づくことであると述べている。チェックリストを使用したことで担当看護師としての役割を自覚し振り返り、担当看護師としての意識が変わり満足感を感じる看護師が増えたと考えられる。

今回は当病棟のみの調査だったが、今後院内全体に調査を行いチェックリストの有効性を検討していきたい。

## VII 結論

1. チェックリストを使用し満足感が増えた。
2. チェックリストを使用して受持ち患者への意識が高まったからこそ自己評価が下降する項目もあった。

<引用文献>

- 1) 西元勝子:固定チームナーシング～責任と継続性のある看護のために～,p89,医学書院
- 2) 西元勝子、杉野元子:固定チームナーシングー責任と継続のある看護のためにー第3版,p121, 医学書院

<参考文献>

- 1) 西元勝子:固定チームナーシング用語集,p74,看護の科学社
- 2) 西元勝子、杉野元子:固定チームナーシングー責任と継続のある看護のためにー第3版,p9, 医学書院

病院年報 平成27年度版  
発行／珠洲市総合病院  
〒927-1213 石川県珠洲市野々江町二部1番地1  
TEL 0768-82-1181(代表) FAX 0768-82-1191  
E-mail [byouin@city.suzu.lg.jp](mailto:byouin@city.suzu.lg.jp)  
発行日／平成28年7月  
制作担当／事務局